

## 春の高尾さんぽ

日 時 2023 年 4 月 23 日（日）9:30～15:00

場 所 高尾山

### 概 要

1. 参加者数：17 名
2. 講 師：八王子観光コンベンション協会
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 学生同士のコミュニケーションの活発化
  - 高尾山の歴史と文化を学ぶ

### 4. 内 容：



学生リーダー・案内教養プログラム（法政大学学生会員向け事業）

## 春の高尾さんぽ

当日の持ち物

- ・リュックサック
- ・山道に適した靴（靴紐で調整でき、底の凹凸がある靴を推奨します）
- ・昼食（屋台での飲食も可能ですが、おにぎりなど主食の持参をおすすめします）

4月23日（日）  
9:30～15:00

～企画趣意～  
周囲の環境が大きく変化して、ストレスを感じやすい4月、高尾山を散策しながら歴史を学び、気分をリフレッシュしてみませんか？  
学生同士の交流が深められるので、新入生も大歓迎です！！

～企画概要～  
雨天の場合、安全なコースに変更して行う予定です。）  
場所：高尾山  
集合 京王線高尾山口駅  
解散 高尾登山電鉄清瀬駅  
定員：20名  
対象：本学学部生  
八王子観光コンベンション協会 ガイドさん  
新入生大歓迎！

お申し込みはこちらから

QRコード

お申し込みは、このQRコードをスマートフォンで読み取り、法政大学のメールアドレス（gkth.hose.ac.jp）を入力してください。

お問い合わせ 市ヶ谷学生会課 TEL 03-3264-9475

4月23日、法政大学課外教養プログラム「春の高尾さんぽ」を実施いたしました。

本企画は、実際に講師と高尾山を散策しながら、1300年に及ぶ高尾山の歴史と文化を学ぶ機会を提供する事を目的としています。そして、「学生がコミュニケーションを取りながら、高尾山を登りきる」という経験を通して、参加者間での交流を深めるという効果を期待して、今回の企画を実施しました。

講師は八王子観光コンベンション協会から2名のガイドさんをお招きしました。プログラムは、10人ずつ2班に分かれ、それぞれの班にガイドが1人ずつ付いた形での進行で、1号路の登山から始まり、山頂でお昼休憩をしたのち、6号路で下山するという内容でした。

ハイキングの途中では、ガイドの方に高尾山内八十八大師巡拝、滝、お地蔵様にまつわる昔話を解説して頂いたり、高尾山に自生している植物の種類や特徴等について教えて頂きました。また、1号路の途中では高尾山薬王院にも立ち寄り、日本古来の考え方である神仏習合がそのまま守られ、残されてきたことや天狗信仰について解説して頂きました。高尾山に登った事がある学生も多かったですが、こういった高尾山に関する解説は聞いた事が無かったので、興味津々な様子でガイドの方のお話に聞き入る様子が印象的でした。また、ガイドの方の案内はただ単に解説をするのではなく、高尾山に関するクイズを交えたり、学生の意見を聞きながら解説をされていたので、学生側もリアクションや質問をするなど、積極的な姿勢が見られました。

山頂のお昼休憩では、登山で交流を深めた学生同士と一緒に食事をしている様子が見られ、本企画の目的が達成されていたのではないかと思います。帰路の6号路は、1号路とは異なり舗装されていないため、高尾山の豊かな自然を身近に感じることができました。企画後アンケートでは、ガイドの方から高尾山に関する多くの知識を得られた点や他学生と交流を深められた点が好評でした。

## 2023年度・KYOPRO 活動報告

新学期が始まる4月に合わせ、学生同士の交流を深める機会を提供することにより、参加した学生がこの交流の基に充実した学生生活を送ることを期待しています。

また、本企画への参加をきっかけに、個人でも高尾山を訪れてもらえれば嬉しいです。

【報告・KYOPRO スタッフ】津嶋千早 法学部政治学科3年

### プログラムの様子



# 理系のための Power Point 作成術

日 時 2023 年 4 月 24 日 (月) 15:10~16:50

場 所 Zoom によるオンライン開催

概 要

1. 参加者数：8 名
2. 講 師：田中 佐代子 氏  
(日本サイエンス・ビジュアルイゼーション研究会代表)
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 今後の学生生活に役立つ、新たなスキルの獲得



## 4. 内 容：

大学生になると、課題やゼミ、研究室などで PowerPoint を作成する機会が多くあります。しかし、正しい作り方を学ぶ機会はほとんどなく、学生自身が PowerPoint の活用の仕方を学ばなければなりません。

本プログラムでは、PowerPoint の作成の仕方や相手に伝わるデザインについて学ぶ機会を作り、PowerPoint を使いこなせることを目的に企画を立案しました。講師として筑波大学芸術系教授・日本サイエンスビジュアルイゼーション研究会代表の田中佐代子様をお招きしご講演いただきました。

講義は、相手に伝わる PowerPoint 作成方法について配色、書式と文字組、レイアウト、図解、グラフについて具体的にお話していただきました。色覚異常の方にも見やすいユニバーサルデザインについても注目した内容でした。また、相手にとって伝わりやすい PowerPoint は「色の違いではなく、形の違い」と田中様がおっしゃっていたことが印象に残りました。これまでの講義では学ぶことのない視点、観点からの学びとなりました。

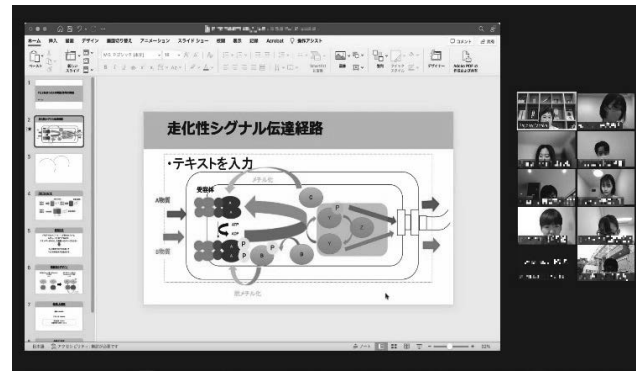
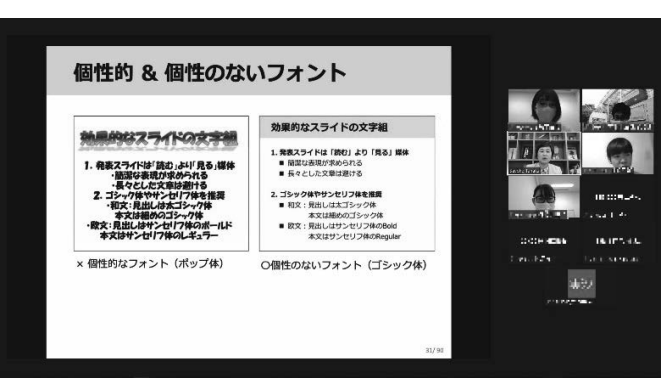
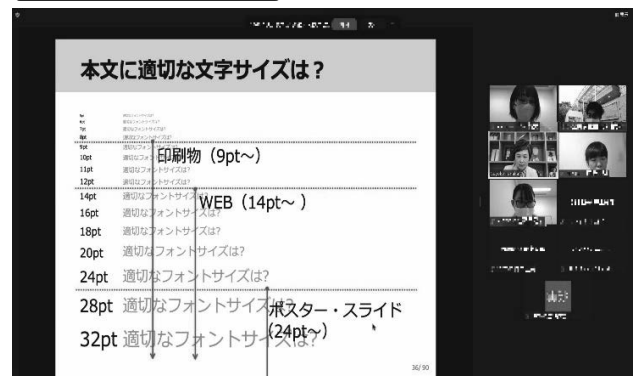
グループワークでは、持参の PowerPoint について、講義内容を踏まえてどこを修正すればよいか話し合いをし、各グループで発表しました。色や図が多すぎることや、使用した色が色覚異常の方には見えづらいなど、有意義な意見交換することができたと思います。その後、田中様にグループワークの総評をいただきました。グループワークでは出なかった意見や情報をいただき、これから PowerPoint を作成する上でとてもためになる講義でした。

本プログラムを通じて、PowerPoint を作成する方法を知り、配色やレイアウト等の新しい見方について見解を深めることができました。

参加者の皆様にとって、本プログラムが PowerPoint を作成する際の役に立てれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】糸木智美（生命科学部生命機能学科 4 年）

プログラムの様子





# 良い人付き合いを始めるための第一印象

日 時 2023 年 4 月 26 日（水） 11:10～12:50

場 所 多摩キャンパス EGG DOME 5 階ホール

概 要

1. 参加者数：133 名（対面：9 名、オンデマンド：124 名）
2. 講 師：畠山 仁美 氏（仁礼塾一所作ホスピタリティ研究所—代表）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 新たな関わりが増える時期、良好な関係性を作るため
4. 内 容：

2023 年 4 月 26 日（水）に、「良い人付き合いを始めるための第一印象」を開催いたしました。また、今回の講義内容をまとめた動画をオンデマンド形式で配信をいたします。

本プログラムは新たな人との関係の構築が必要なこの時期に、良好な人間関係を築くために必要な第一印象を学ぶ機会を提供する目的で企画しました。

講師として畠山仁美先生をお招きいたしました。畠山先生は所作・礼儀作法専門スクール【仁礼塾一所作ホスピタリティ研究所】の代表を務めていらっしゃいます。

当日は講義と学んだことをグループワーク、ペアワークで実践する形式で行われました。内容としては、姿勢、目の表現、短い時間での自己紹介を中心に行いました。プログラムに参加してみて、姿勢の面では意外と自分がまっすぐだと思っている姿勢が他の人から見たら傾いていたり、目の表現だけでは自分が伝えたいことが伝えられなかったりと、グループワーク、ペアワークを通してでないと思えることのできない気づきがあり、対面講義ならではの意義のあるプログラムになりました。全体のプログラム内容終了後の質疑応答では、参加者が個々人の抱えている「人と接するうえでの悩み」を講師の方に相談する貴重な機会になりました。

このプログラムで学んだことを活用して、今後の人付き合いをこれまで以上に良好なものにしていだけましたら幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】福田尊（社会学部社会学科 2 年）



新しい出会いを

良いものにしませんか？

良い人付き合いを始めるための  
**第一印象**

参加者  
募集中

**4月26日(水) 11:10～12:50**

多摩キャンパス EGG DOME5階ホール

定員：30名 ※先着順

対象：本学学部生

講師：畠山仁美 氏

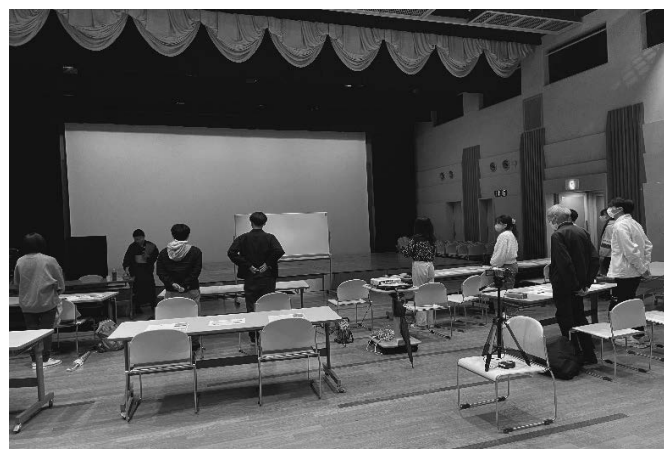
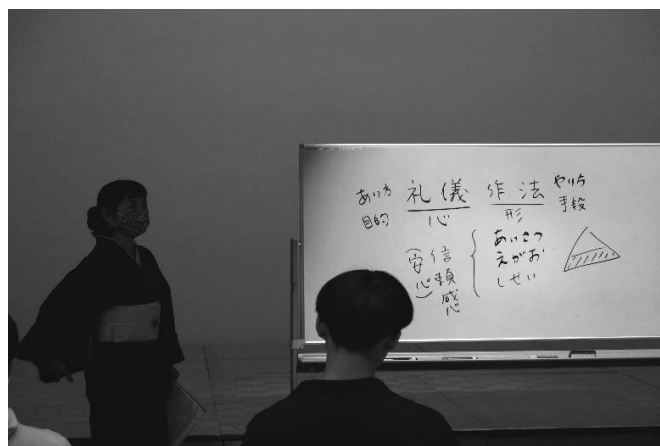
マナースクール仁礼塾 代表

参加申し込みは右記QRコードから ▶▶  
QRコードの読み取りはスマートフォンまたはPCのブラウザから行うことができます。

お問合せ：多摩学生生活課 042-783-2152



プログラムの様子



# 法政スポーツを応援しよう！東京六大学野球応援

**日 時** 2023年5月20日（土）13:30～16:30

**場 所** 明治神宮球場（神宮球場）

## 概 要

1. 参加者数：50名
2. 協 力：法政大学野球部・法政大学応援団
3. 実施目的：
  - 「法政スポーツ」応援を通じた法政大学への帰属意識の涵養
  - 学生同士の交流のきっかけづくり



## 4. 内 容：

5月20日（土）神宮球場にて学生センター・課外教養プログラム「東京六大学野球応援（東大戦）」を実施しました。

今回のプログラムは「法政スポーツ」の応援を通じて、法政大学への帰属意識の涵養や学生同士の交流のきっかけづくりを目的として実施しました。本プログラムはコロナ禍による規制の影響により、実施ができていませんでしたが、第5類に引き下げられた事で3年振りに実施する事ができました。

3年振りに実施された事もあって、初めて六大学野球を観戦する学生が殆どでした。入場する前に学生応援席での注意事項や応援の仕方のレクチャーを応援団の方から行って頂きました。

参加した学生は初めて見る応援団の応援に最初は戸惑っていましたが、応援団の指導によって徐々に応援団と一体となって、応援を行う姿が印象的でした。

試合は法政大学が攻勢を強め、松下選手のソロホームランもあり、11-0で圧勝する事ができました。

1回表の法政の攻撃で先制点を取った時には「スクラム校歌」で応援席全体が一つになり、皆で肩を組んで校歌を熱唱しました。

課外教養プログラムでは、今後も「法政スポーツ」の応援プログラムを実施していきます。

プログラムの様子



## 急須で味わう日本茶体験

日 時 2023年5月23日(火) 16:50~18:50

場 所 外濠校舎 5階 523~526 連結短期会議室

### 概 要

1. 参加者数：17名
2. 講 師：安藤茂美 氏（NPO 法人 日本茶インストラクター協会）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 日本茶の魅力を体験し、その効果や効能について知る

### 4. 内 容：

5月23日、法政大学課外教養プログラム「急須で味わう日本茶体験」を実施いたしました。

本企画は、私たちにとって身近な飲み物である「日本茶」の種類や効用を学び、実際に急須で味わう体験を通して学生に日本茶の魅力を体感してもらうことを目的として実施いたしました。

講師には、NPO 法人 日本茶インストラクター協会から安藤茂美様をお招きしました。安藤様は、お茶をテーマにした食育や講習会などを通して日本茶の普及を行っていらっしゃいます。

前半でお茶の歴史・種類・製造方法・効用を解説していただき、後半では実際にお茶を淹れ、飲み比べを行いました。実際に今後の生活で活かせる知識を多く教えていただいたため、参加学生は熱心にメモを取りながら講義を聞いていました。

また、本プログラムは、グループでのアイスブレイクやお茶に関するクイズなどを行ったため、参加者同士の交流も深めることができました。

特に後半のお茶体験では「同じ種類のお茶なのに味わいが違う！」「私はこのお茶が好き！」など、積極的に意見交換する参加学生の姿が印象的でした。

普段、ペットボトルのお茶は自販機やコンビニで気軽に買う事ができる為、急須で淹れたお茶を飲む経験のある学生は少ないのではないのでしょうか。

今回の企画でお茶について深く学び、味の違いや自身の好みを共有することは、学生にとってとても貴重な体験になったと思います。



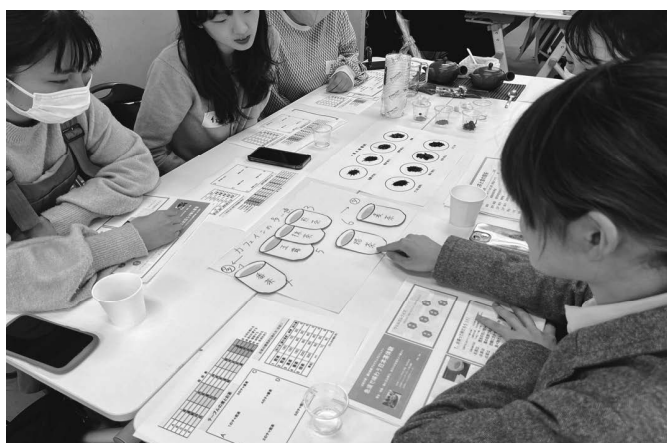
## 2023年度・KYOPRO 活動報告

実施後のアンケートでは、多くの学生から「お茶について学ぶだけでなく、実際に体験をすることができて良かった」「今度、家族にお茶を淹れたい」などの回答をいただきました。

本企画が参加学生の皆様にとって、日本の伝統であるお茶について理解を深め、今後の生活で「お茶を味わう」「急須で入れたお茶で団欒をする」きっかけになれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】山本汐莉 キャリアデザイン学部キャリアデザイン学科 2 年

### プログラムの様子



# 多目的室利用講習会

日時

2023年6月 2日(金) 17:00~18:00  
2023年6月 6日(火) 17:00~18:00

場所

市ヶ谷キャンパス外濠校舎地下1階多目的室1

概要

- 参加者数：20名(6月2日)  
11名(6月6日)
- 講師：舞台技術研究会
- 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 多目的室の利用マナー、機材利用方法を学び正しく施設を使用ようになる

## 4. 内容：

6月2日・6日に2023年度に多目的室を利用する団体向けに利用の基本的なマナー、および専門的な音響・照明設備の概要と扱い方・照明と音出し等比較的操作が簡単な機材の操作方法を習得してもらう事を目的として、「多目的室利用講習会」を実施しました。

講習会では基本的なマナーや操作方法だけでなく、各機材の適正な使用法だけでなく、多様な表現方法も学んで頂きました。

当日は、ステージの照明・音響設備の操作を専門的に行う舞台技術研究会(本学登録団体)さんにご協力頂き、音楽活動、演劇活動を行う各団体に対して、レクチャーをして頂きました。各団体が共用して使用する場所である為、今回学んだ知識を活かして、自団体の活動をより本格的にするだけでなく、次に使用する団体が気持ちよく使えるように配慮をして頂きたいと思います。

多目的室での利用が練習のみや照明、音響機材を使用しないで利用する団体には多目的室利用マナーのみの講習を受けて頂き、多目的室を利用するにあたって、遵守して頂きたいルールや施設利用の注意点について学んで頂きました。

課外教養プログラムでは今後も本学サークルを講師とした企画を多く実施予定です。

学生センター・課外教養プログラム(学生入学後援会補助事業)

**2023年度「多目的室・オレンジホール」利用講習会**

外濠校舎地下1階にある「多目的室」と、富士見ゲート地下2階にある「オレンジホール」を利用する団体を対象に「利用講習会」を開催します。

この講習会では、音響照明機材の操作講習だけでなく、利用マナー講習も行います。

**今年度、多目的室・オレンジホールの利用を希望する団体は、必ず受講して下さい。万が一、サークルとしてなど他の理由で参加できない場合は、1つになる理由である場合も今年度の利用は認められません。**

**また、前年度受講した団体も新たに受講する必要がありますので必ずご参加ください。**

A: ライブや公演・展示等で音響照明機材を使用する団体は、音響照明機材の操作講習会および利用マナー講習会を受講して下さい。受講料には2023年度分の稼働料が交付され、音響照明機材を使用できるようになります。参加費は20名までです。

**【機材講習会】**  
機材講習会では、音響照明機材の概要と扱い方・切り出しと音出し等の機材の操作方法を習得し、自分の操作で一定の音響照明効果を得られるようになることを目的としています。

B: 機材講習会で習得する団体(音響照明機材を一切使用しない団体)は、利用マナー講習会のみで受講が可能です。

**【利用マナー講習会】**  
利用マナー講習会では、利用マナーの概要について説明します。

1. 日時：  
**多目的室**  
A. 機材講習会+利用マナー講習会をライブや公演等で音響照明機材を使用する団体対象  
下は1〜2名の参加費のうち1名を定員して下さい。  
① 6月2日(金) 17:00~18:00 ② 6月6日(火) 17:00~18:00  
B. 利用マナー講習会のみを練習目的で使用する団体対象  
下は3〜4名の参加費のうち1名を定員して下さい。  
③ 6月2日(金) 17:30~18:00 ④ 6月6日(火) 17:30~18:00  
17:20ころに多目的室前の廊下に集合してください。

**オレンジホール**  
A. 機材講習会+利用マナー講習会をライブや公演等で音響照明機材を使用する団体対象  
下は2日毎の講習会を受講して下さい。  
① 6/16(金) 17:00~18:00  
B. 利用マナー講習会のみを練習目的で使用する団体対象  
下は2日毎の講習会を受講して下さい。  
② 6/16(金) 17:30~18:00  
17:20ころにオレンジホール前の廊下に集合してください。

2. 受講対象：多目的室・オレンジホール利用を希望する団体の所属

3. 場 所：多目的室1(6/2・6/6)、オレンジホール(6/16)

4. 講 師：舞台技術研究会

5. 申込方法：下記のGoogleフォームに必要事項をご入力の上、お申し込みください。  
<https://forms.gle/LHweN8eYRzqchJ9>

6. 申込期間：5月17日(水)~5月30日(水)  
※希望者多数の場合は、参加時期を変更していただくことがありますので、お早めに申込をして下さい。

2023年5月17日  
学生センター



プログラムの様子



# 能楽鑑賞教室

## 日 時

事前学習 2023年6月17日(土) 15:00~16:00

作品鑑賞 2023年6月21日(水) 14:00~16:00

## 場 所

事前学習：市ヶ谷キャンパス 外濠校舎5階 和室

鑑賞教室：国立能楽堂

## 概 要

1. 参加者数：事前学習5名・鑑賞教室9名

2. 講 師：能楽研究会6名

3. 実施目的：

■日本の伝統芸能である能楽を学び、実際に鑑賞する事で日本文化を理解する。

4. 内 容：

6月21日(水)、学生センターの課外教養プログラム「能楽鑑賞教室」を実施しました。本学の登録団体である能楽研究会が講師となった事前学習を受講し、実際に国立能楽堂に鑑賞に行きました。

6月17日の事前学習会では、能と狂言の違い、お囃子について、能面・能装束について、狂言について、能楽鑑賞のマナーを、実演を交えながら能楽研究会が解説し、鑑賞前に理解を深めました。

「岩船」「敦盛 キリ」「熊野」「放下僧 小歌」「船弁慶 クセ」「羽衣 キリ」の6演目を実演いただき、興味深く鑑賞しました。

参加者からは、「小鼓の保管方法」、「面の作り方」などの質問があり、事前講習会終了後も、参加学生と能楽研究会の学生とで賑やかに話をする姿が見られました。

鑑賞教室当日は、参加者から「事前学習会のおかげで能に関する理解を深め、鑑賞を楽しむことができた」との声があり、事前学習会の重要性を認識しました。

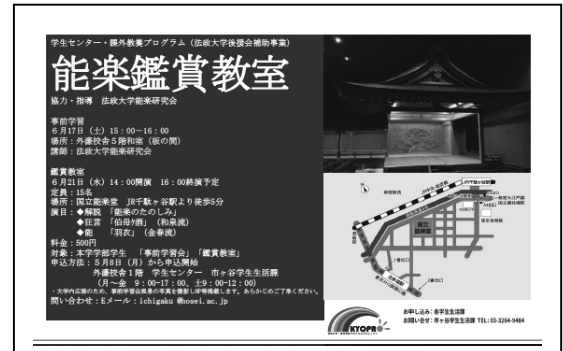
国立能楽堂では、解説「能楽の楽しみ」を見た後、狂言「伯母ケ酒」、能「羽衣」の演目を鑑賞しました。

「能楽の楽しみ」では、実際に能楽の構えを実践し、姿勢を保つ難しさや美しさを体験しました。また、泣いていることを表す所作である「シオリ」について解説を受け、全員で実際に所作を行いました。参加学生同士で感想について話したり、交流したりする姿も多く見られました。

課外教養プログラムでは、今後も日本文化についての知識を身に付け、体験を通して学ぶことのできるプログラムを実施していきます。

【参加学生による感想】

- ・初心者でも抵抗なく能楽を楽しめるプログラム編成にしてくれたところが良かった。
- ・古き良き日本文化に触れる事ができた。能楽師の人の解説がわかりやすく親しみがもてた。
- ・事前学習などで丁寧な解説があったため、当日も理解しながら鑑賞することができた。
- ・能楽を実際に見るのが初めてで、非常に見応えがあった。



プログラムの様子



# 歌舞伎鑑賞教室 - 日本文化を学ぼうシリーズ -

日 時 2023 年 6 月 10 日 (土) 14:30~16:20

場 所 国立劇場

## 概 要

1. 参加者数：39 名

2. 実施目的：

- 日本の伝統芸能の 1 つである歌舞伎の鑑賞を通じて、日本文化を体験する。

3. 内 容：

6 月 10 日 (土)、学生センターの課外教養プログラム「歌舞伎鑑賞教室—日本文化を学ぼうシリーズ—」を実施しました。本プログラムは、鑑賞を通じた日本文化に関する教養教育を目的として、実施しました。鑑賞教室は国立劇場で実施されました。今回の演目「日本振袖始」は日本のシェイクスピアとも言われる近松門左衛門が日本書紀等を題材に書き上げました。本作は当初、人形浄瑠璃劇で初演されたもので素戔鳴尊による八岐大蛇の討伐をベースにした物語で冒険活劇・ラブストーリー様子も含んだハラハラドキドキとさせられる歌舞伎演目でした。この演目は、酒に酔って次第に八岐大蛇としての本性を現す岩長姫の妖艶な姿や立ち回り、八岐大蛇と素戔鳴尊との間で繰り広げられるダイナミックな戦いの様子等、歌舞伎ならではの華やかさや豪快さが直に感じられる歌舞伎作品です。歌舞伎ならではの手法で 8 つの頭がある八岐大蛇を表現したり、派手なアクション等、迫力のある舞台に学生は目を奪われていました。

冒頭の 40 分は「解説 歌舞伎のみかた」として、物語の時代背景や人物相関図の説明だけでなく、クイズを交えながら本作品について解説して頂きました。また、黒御簾音楽、舞踊の表現方法といった歌舞伎の基本的な説明を交えて、歌舞伎の基礎について分かりやすくご紹介頂きました。解説を担当して頂いた、中村虎太郎さんによる説明は面白く、参加者は終始笑顔で聞いていました。途中、実演を交えた説明の場面では、なかなか目にする事のない歌舞伎の実演に興味津々とした様子で説明に聞き入る姿が印象的でした。

その後、参加者は実際に「日本振袖始」を鑑賞しました。感情表現の豊かな演技や迫力のある役者の立ち居振る舞い等、魅力的な演技の様子に参加者は真剣に鑑賞していました。また、冒頭の解説のおかげで、初めて歌舞伎を鑑賞する学生でも楽しく鑑賞する事が出来ました。

本プログラムは、早々に参加者募集が定員に達し、留学生の参加も多く見受けられました。参加者からは、「歌舞伎のみかたの解説があったため、本編が見やすかった。また、歌舞伎自体への理解も深まった。」「今回はじめて歌舞伎を鑑賞しました。本企画が私自身、日本の伝統文化に触れるきっかけとなり、内容も興味深くよかったです。今日はありがとうございました。」という声があり、学生にとって貴重な経験になったようです。



お申し込み：各学年半志願  
お問い合わせ：市ヶ谷学生生活課 TEL: 03-3264-9475

課外教養プログラムでは、今後も日本の伝統文化に関する知識を身につけ、体験を通して学ぶことの出来るプログラムを実施していきます。

プログラムの様子



# ミュージカル鑑賞教室

**日 時** 2023 年 6 月 12 日（月）17:00～18:30（事前学習）  
2023 年 6 月 13 日（火）18:00～（観劇）

## 場 所

市ヶ谷キャンパス外濠校舎 5 階 523～526 短期会議室（事前学習）  
KAAT 神奈川芸術劇場（観劇）

## 概 要

- 参加者数：18 名（事前学習）  
38 名（観 劇）
- 講 師：四季株式会社 木崎氏（事前学習のみ）
- 実施目的：
  - ミュージカル鑑賞を通じた芸術文化に関する教養教育。
  - コロナ禍によって薄れてしまった学生同士の交流の活発化

## 4. 内 容：

6 月 12 日・13 日に学生センター主催課外教養プログラム「ミュージカル鑑賞教室」を実施致しました。本プログラムは劇団四季を運営している四季株式会社様のご協力の下、事前学習と観劇の 2 つの構成で実施致しました。

12 日の事前学習では劇団四季がどのような経緯で設立されたのか、劇団四季が公演を運営する際の工夫や特徴、俳優の稽古の仕方等についてレクチャーをして頂いた後に、質疑応答を行いました。講義では学生が真剣に話を聞く様子が印象的でした。その後の質疑応答では、木崎氏のキャリアに関する質問から演劇に関する質問まで幅広い質問が多く多くの学生からあり、講義を行った木崎氏には遅い時間まで質問に対応して頂きました。学生の中にはコアな劇団四季ファンの学生やエンタメ業界に就職を考えている学生といった様々な学生が参加しており、それぞれの学生が思い思いに質問をしている様子が印象的でした。

13 日は横浜にある神奈川芸術劇場にて観劇を行いました。観劇したのは「クレイジーフォー・ユー」というミュージカルでトニー賞を受賞した実績がある著名な振付師であるスーザン・ストロートマン氏が振付を行い、日本では 8 年振りに行われる公演でした。その為、本企画は早々と定員満員になった人気企画となりました。学生は 1 人で参加する方もいれば友人同士で参加する方もおり、思い思いに観劇を楽しんでいる様子でした。

企画終了後に実施した参加者向けアンケートでは、「鑑賞自体が素晴らしかったのはもちろんのこと、今回の企画で知り合った方々と仲良くなり、新たな出会いの良い機会となったから。」という意見や「事前

学生センター主催課外教養プログラム  
（法政大学後援会補助授業）

鑑賞プログラム  
「クレイジーフォーユー」

ミュージカル  
鑑賞教室

課外教養プログラム

※事前学習では、劇団四季社員の方から、劇団四季ミュージカルの魅力や社員の方のキャリア等についてご講演頂きます。

実施日：  
6月12日（月）17:00～18:00（事前学習）  
6月13日（火）17:15（集合）/18:00（開演）

場所：  
（事前学習）外濠校舎5階523～526短期会議室  
（鑑 賞）神奈川芸術劇場

定員：40名  
料金：1,000円  
対象：本学学部生

注意事項：  
申込後、学生センターよりチケットの受け渡しの連絡があるの  
で、必ずからの連絡は逐一確認するようお願い。  
コロナウイルス感染防止のため、観劇が中止になる恐れ  
があります。予めご了承ください。

お申込み：各学生生活課  
お問い合わせ：03-3264-9475

学習では、劇団四季で働いている方のお話を聞いて興味深かった。」という意見を頂きました。このことから事前学習の効果や劇団四季の公演自体にも学生にとって大きな効果があるという事を実感しました。また、観劇を通して、新たな人間関係を構築する事のきっかけにもなるという事が分かりました。

課外教養プログラムでは、今後も芸術文化に関する知識を身につけ、体験を通して学ぶこと・学生同士で交流が出来るプログラムを実施していきます。

### プログラムの様子





# オレンジホール利用講習会

日 時 2023 年 6 月 16 日（金）17:00～18:00

場 所 市ヶ谷キャンパス富士見ゲート校舎  
地下 2 階オレンジホール

## 概 要

1. 参加者数：17 名
2. 講 師：舞台技術研究会（本学登録団体）
3. 実施目的：  
■学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」  
の実践  
■オレンジホールの利用マナー、機材利用方法を学び正しく施設を  
使えるようになる

## 4. 内 容：

2023 年度にオレンジホールを利用する団体向けに利用の基本的なマナー、および専門的な音響・照明設備の概要と扱い方・照明と音出し等比較的操作が簡単な機材の操作方法を習得してもらう事を目的として、「オレンジホール利用講習会」を実施しました。

講習会では基本的なマナーや操作方法だけでなく、各機材の適正な使用法だけでなく、多様な表現方法も学んで頂きました。

当日は、ステージの照明・音響設備の操作を専門的に行う舞台技術研究会（本学登録団体）さんにご協力頂き、音楽活動、演劇活動を行う各団体に対して、照明の使い方や照明卓の操作方法をレクチャーをして頂きました。各団体が共用して使用する場所である為、今回学んだ知識を活かして、自団体の活動をより本格的にするだけでなく、次に使用する団体が気持ちよく使えるように配慮をして頂きたいと思います。

オレンジホールでの利用が練習のみや照明機材を使用しないで利用する団体にはオレンジホールの利用マナーのみの講習を受けて頂きました。利用マナー講習は学生センター職員が行い、施設の基本的な使い方や備付の音響操作卓の使用法等について説明を行いました。

課外教養プログラムでは今後も本学サークルを講師とした企画を多く実施予定です。

学生センター・課外教養プログラム（法政大学後援会補助事業）

### 2023 年度「多目的室・オレンジホール」利用講習会

外環校舎地下 1 階にある「多目的室」と、富士見ゲート地下 2 階にある「オレンジホール」を利用する団体を対象に「利用講習会」を開催します。

この講習会では、音響照明機材の操作講習だけでなく、利用マナー講習も併せて行います。  
今年度、多目的室・オレンジホールの利用を希望する団体は、必ず受講して下さい。万が一、サークルとしてなどの参加をしない場合は、いかなる理由でも受講と出席の証明は認められません。

また、昨年度受講した団体も新たに受講する必要がありますのでご注意ください。

A：ライブや公演・展示等で音響照明機材を使用する団体は、音響照明機材の操作講習および利用マナー講習を受講して下さい。受講時には 2023 年度分の修了証が交付され、音響照明機材を使用できるようになります。修了証は 20 名までです。

【機材講習】  
機材講習では、音響照明機材の概要と扱い方・音出しと音出し等の機材の操作方法を指導し、自らの操作で一定の音響照明効果を得られるようになることを目的としています。

B：機材講習で使用する団体（音響照明機材を一切使用しない団体）は、利用マナー講習会のみで結構です。

【利用マナー講習】  
利用マナー講習は利用マナーや機材の扱いについて説明します。

1. 日時：  
多目的室  
A. 機材講習会+利用マナー講習会※ライブや公演等で音響照明機材を使用する団体対象  
下記 1～4 の時間枠のうち 1 回を受講して下さい。  
① 6 月 2 日（金）17:00～18:00 ② 6 月 6 日（火）17:00～18:00  
B. 利用マナー講習会のみ※練習目的で使用する団体対象  
下記 3～4 の時間枠のうち 1 回を受講して下さい。  
③ 6 月 2 日（金）17:30～18:00 ④ 6 月 6 日（火）17:30～18:00  
17:20 ころに多目的室前の廊下に集合してください。

オレンジホール  
A. 機材講習会+利用マナー講習会※ライブや公演等で音響照明機材を使用する団体対象  
下記 1～4 の時間枠を受講して下さい。  
① 6/16（金）17:00～18:00  
B. 利用マナー講習会のみ※練習目的で使用する団体対象  
下記 3～4 の時間枠を受講して下さい。  
③ 6/16（金）17:30～18:00  
17:20 ころにオレンジホール前の廊下に集合してください。

2. 受講対象：多目的室・オレンジホール利用を希望する団体の所属員

3. 場 所：多目的室 1（6/2・6/6）、オレンジホール（6/16）

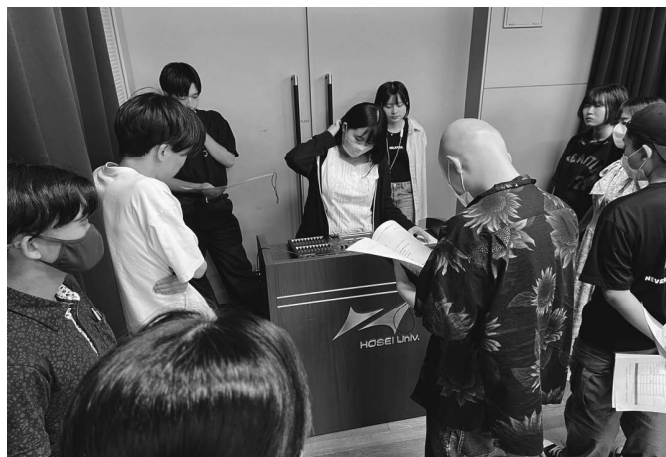
4. 講 師：舞台技術研究会

5. 申込方法：下記の Google フォームに必要事項をご入力の上、お申し込みください。  
<https://forms.gle/UHwN8eYRzdcnJ9>

6. 申込期間：5 月 17 日（水）～5 月 30 日（水）  
※希望者多数の場合は、参加時間等を変更していただくことがありますので、お早めに申込を下さい。

2023 年 5 月 17 日  
学生センター

プログラムの様子



# これであなたもバッチリ！基礎から学ぶテーブルマナー

**日 時** 2023年6月16日（金）17:00～18:40

**場 所** 市ヶ谷キャンパス 外濠校舎5階 523～526 短期会議室

## 概 要

1. 参加者数：16 名
2. 講 師：白尾 美佳氏（実践女子大学 生活科学部食生活科学科 教授）
3. 実施目的：
  - 社会人になるために重要なスキルの一つであるテーブルマナーの知識や実践方法を、カトラリーや皿を実際に用いた演習と講義を経て学ぶ機会を提供する。



## 4. 内 容：

6月16日、法政大学課外教養プログラム「これであなたもバッチリ！基礎から学ぶテーブルマナー」を実施いたしました。

本企画は、社会人になるために重要なスキルの一つであるテーブルマナーの知識や実践方法を、カトラリーや皿を実際に用いた演習と講義を経て学ぶ機会を提供することを目的としております。

また、参加者には、テーブルマナーの持つ社会生活での重要性を十分に理解し、自分も相手も心地よく食事を楽しむことができるための知見と教養を習得して欲しいという考えから、本企画実施の提案に至りました。

講師には、実践女子大学生生活科学部食生活科学科教授であり、食品栄養学研究室に所属されている白尾美佳氏をお招き致しました。白尾先生は東京都日野市内の中学校にて10年間テーブルマナーについての教室を開講されており、洋食だけでなく、和食マナーや日本の食文化、子どもの食育についても精通されています。

本プログラムは、法政大学内の教室に白尾先生をお迎えし、テーブルマナーについてのミニクイズを楽しんだ後、座学形式で学ぶ講義、実践的な演習、そして白尾先生と参加者による対話形式での質疑応答、という流れで行われました。

まず講義では、テーブルマナーを学ぶ意義やその歴史、コース料理の実際の流れについてお話しして頂きました。白尾先生が実際に経験されたマナーについてのお話を交えながら講義が進み、参加者は資料にメモを取りながら熱心に聞き入っている姿が印象的でした。

また実践学習では、実際にレストランに赴いた設定で、1人1セットずつ手元に用意されている紙皿とプラスチックのフォーク、ナイフ、スプーンを実際の食器に代替して使用しながら、カトラリーを使う手順や持ち方、座り方などを総合的に学びました。グループ形式で実施をしたため、参加者はみな活発に意見交換をしながら、主体的に考え、手を動かして学習をしていました。

また、本物の食器やカトラリーを教卓に用意し、グループごとに交代で体験してもらうことで、より具体的なイメージを掴んで貰うことができましたと思います。

プログラムは終始和気あいあいとした雰囲気で行われ、終盤に設けられた質疑応答では積極的に質問がなされて

いました。その際に白尾先生が仰っていた「食事には相手を思いやる心と楽しむ心が大切である」という言葉は多くの参加者に影響を与え、「テーブルマナーを学ぶ意義を再認識させられた」という旨の感想が企画終了後のアンケートにも多数寄せられました。

本企画後、テーブルマナーは礼儀としての「型」という役割に留まらず、その先にある食事の喜びやおいしさ、楽しさを感じるために存在するということに私個人も改めて気付かされました。

大学生から社会人になるにつれ、テーブルマナーが必要となる機会は増えると思います。その際に、本企画で学習したマナーの知識や手順だけではなく、食事マナーを心得る目的を思い出していただければ幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】 宗安玲衣 法学部法律学科 3 年

### プログラムの様子



# 恋愛学から学ぶ！好きな人との距離を縮める方法

日時 2023年6月23日（金）13:40～15:20

場所 Zoomによるオンライン上

概要

1. 参加者数：36名
2. 講師：森川 友義 氏（早稲田大学国際教養学部 教授）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 恋愛学を用いて、実証的に人間関係について学ぶ

4. 内容：

2023年6月23日に、「恋愛学から学ぶ！好きな人との距離を縮める方法」を開催いたしました。

本プログラムは、恋愛学を用いて、実証的に人間関係について学ぶために企画しました。

実際に多くの学生が恋愛に興味を持っているようで、定員30名に対し50名以上の参加申込みが来たため、申込みを中止するほどでした。最終的に、定員数を50名と増員した上で実施いたしました。

また、この度、講師として森川友義先生をお招きいたしました。森川先生は恋愛学の第一人者であり、また「恋愛学」という言葉の商標権を取得されている方です。

講義では遺伝学や心理学を用いた恋愛のテクニックなど、かなり実践的なことを学ぶことができたので、多くの学生にご満足いただけたのではないのでしょうか。個人的には、相手から見たときにどの位置に座れば好印象を与えることができるかというお話が興味深かったです。どのお話しも私生活で応用できる簡単なものでしたので、機会があれば実践したいと思います。

さらに、講義が講師と学生の対話形式で進められたということもあり、いつも以上に楽しい雰囲気が漂っていました。今回はZoomを用いたオンライン開催でしたが、オンラインの弱点でもあるコミュニケーションの取りにくさというものを全く感じなかったので、今後も対話形式を取り入れられそうなら取り入れてみたいと思います。

このプログラムで学んだことを活かして、みなさんの今後の恋愛に役立てていただければ幸いです。

学生センター・課外教育プログラム（法政大学後援会補助事業）



“恋愛学”を  
この機会に学んでみませんか？

**恋愛学** から学ぶ → 好きな人との距離を縮める方法

**6/23** 金 13:40～15:20 Zoom 開催

定員：30名 ※先着順  
対象：本学学部生  
費用：無料

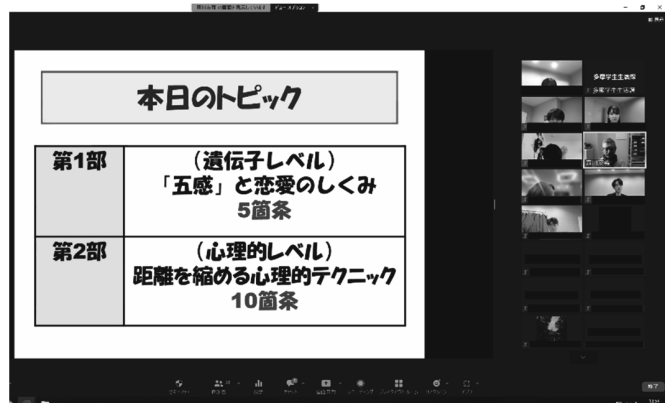
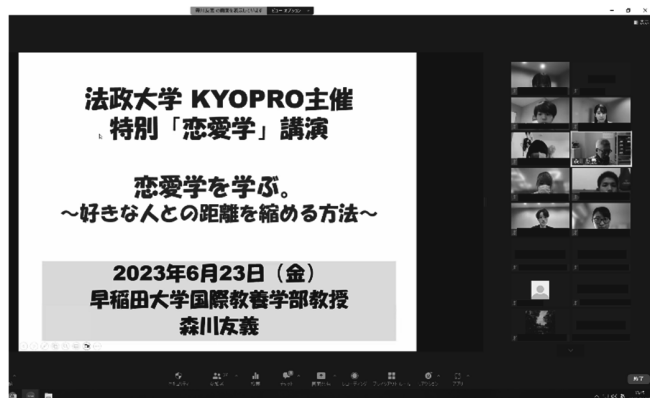
講師：森川友義 氏  
早稲田大学 国際教養学部教授  
恋愛学の専門家

参加申し込みは右記QRコードから >>>

お問い合わせ：多摩学生生活課 042-783-2152



## プログラムの様子



## 三曲体験教室-日本文化を学ぼうシリーズ-

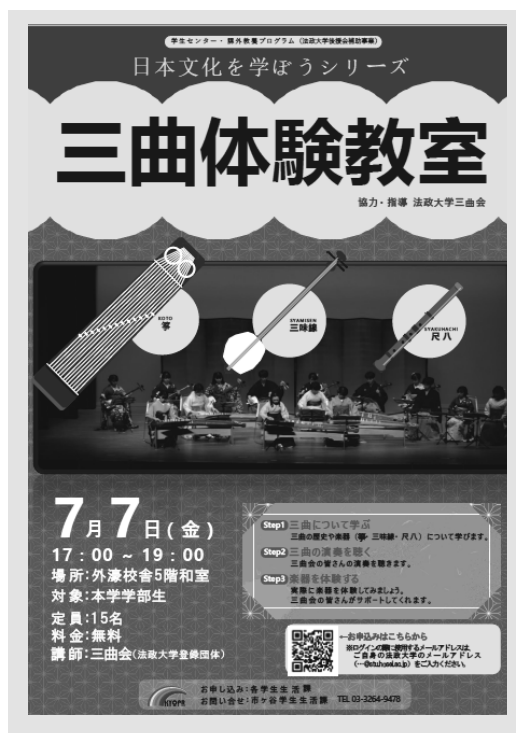
**日 時** 2023年7月7日(金) 17:00~19:00

**場 所** 市ヶ谷キャンパス外濠校舎5階 和室

### 概 要

- 参加者数: 11名
- 講 師: 法政大学三曲会(法政大学登録団体)
- 実施目的:
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - なかなか体験出来ない和楽器を体験してもらい、日本の伝統文化に対する理解を深める、関心を持つきっかけを作る
- 内 容:
 

7月7日(金)、学生センター・課外教養プログラム「三曲体験教室-日本文化を学ぼうシリーズ-」を実施しました。



本企画は、三曲(三味線・箏・尺八)鑑賞と、体験を通じた伝統芸能に関する教養教育を目的として実施しました。

プログラムでは、本学の登録団体である三曲会が講師となり、三曲の歴史や楽器について学びました。その後、三曲会の皆さんによる演奏を聴き、箏・尺八・三味線それぞれの音色の魅力を感じました。三曲合奏では迫力のある演奏を聞くことができ、参加学生はじっくりと集中して聴いていました。暑さを忘れるような涼しげな音色に、感動した様子も見られました。

その後は、三味線、箏、尺八の3グループに分かれて、楽器の演奏を体験しました。三曲会の皆さんが参加学生について体験のサポートにあたり、楽器の演奏体験を行いました。楽しそうに話をしながら、体験をする参加学生と三曲会の学生の姿が印象的でした。なかでも尺八は初心者には難しいようで、音を鳴らそうと熱心に取り組んでいました。音が鳴る仕組みやコツについて、三曲会の学生から丁寧な解説もあり、充実した時間になりました。一番人気が高かった箏では、多くの参加学生がきれいな「さくらさくら」を演奏できたようです。

参加学生からは、「楽器に触れたのが楽しかった。雰囲気がよく前向きに取り組めた。」「三曲の体験をすることが初めてだったので、良い経験になった」「近い距離で三曲の演奏を聞くことができ、自分も実際に楽器を体験することができて、とても楽しかった」など、多くの感想をいただきました。なかには、プログラム終了後も三曲会の学生と話している参加学生もあり、本プログラムは学生同士の交流の場ともなりました。

課外教養プログラムでは、今後も日本文化についての知識を身に付け、体験を通して学ぶことのできるプログラムを実施していきます。

【三曲会代表 野吾さんの感想】

三曲体験教室では、三曲や箏・三味線・尺八の紹介から始め、三曲会による演奏の披露の後、参加者の皆さんに各楽器の体験を行っていただくというプログラムを実施しました。今年は昨年に比べ演奏時間を縮小し、各楽器の体験時間を30分に設定いたしました。

私は三味線の体験を担当していたのですが、三味線の構え方や撥の持ち方、楽譜の読み方、弾き方など多くのことを参加者の方に伝えながら、曲を演奏していただくことに楽しさと難しさを感じました。学んだことを人に伝えるという経験ができ、三曲会の会員にとって非常に良い機会となりました。参加者の方も初体験の方が多い中、音がつながるように練習されていて、楽しんでいただけていたと思います。また、他の楽器の体験も、毎回参加者の方が楽しみながら学んでいる様子が伺えました。

今回の体験教室を通して、参加者の方に和楽器の魅力を知っていただけたら幸いです。体験教室にお越しいただき、本当にありがとうございました！

プログラムの様子





# 豊洲の卸売業とわたしたちの生活のつながり ～日本最大級の魚市場・豊洲市場の卸売を見にいこう！～

日 時 2023年8月11日（金）8：45～11：00

場 所 豊洲市場

## 概 要

1. 参加者数：15名
2. 協 力：東京魚市場卸組合
3. 実施目的：  
■豊洲市場の見学を通して市場の歴史や役割、仕組みなどを学ぶ

## 4. 内 容：

8月11日、法政大学課外教養プログラム「豊洲の卸売業とわたしたちの生活のつながり～日本最大級の魚市場・豊洲市場の卸売を見に行こう！～」を実施いたしました。

本企画は、豊洲市場の見学を通して市場の歴史や役割、仕組みなどを学ぶ機会を提供することを目的としています。そして、食に対する関心の低下や魚離れといった状況が見られる中で、改めて学生自身が市場や食への理解を深めることを期待して、今回の企画を実施しました。

今回の企画は、東京魚市場卸協同組合の方々にご協力頂き、企画を実施いたしました。プログラムは、講師の説明を受けながら市場内の見学を行ったのち、組合事務所にて市場に関するDVDの視聴と質疑応答を行うという流れで実施しました。

まず、市場内の見学では、主に管理施設棟と水産仲卸売場棟を見学しました。特に水産仲卸売場では、参加者15名を2つのグループに分けて仲卸業者店舗の見学を行い、店舗に関する説明や仲卸の詳しい仕組みについて、市場で働かれている業者の方からお話していただきました。市場内は原則、一般人が入ることのできないエリアであった為、市場の店舗を興味津々な様子で見学する参加者の姿がとても印象的でした。

また、組合事務所での質疑応答では、東京魚市場卸協同組合広報文化委員会委員長のほか、見学の時に対応頂いた卸業者店舗の2名の経営者の方にも参加いただき、市場見学を通して疑問に思ったことや意見交換などを行いました。築地市場に行ったことがあるが豊洲市場に来たのが初めてという参加者が多かったこともあり、築地市場との違いや近年抱えている課題などを質問する姿が見られました。

同席していただいた3名の方は、同じ仲卸業者でも取り扱う水産物が異なることから、様々な立場の意見を聞くことができ、有意義な時間になりました。

参加した学生からは予想を上回るほどの活発な質疑応答が行われ、積極的な姿勢が見られて良かったと思います。

学生センター・課外教養プログラム（法政大学後援会後援事業）

豊洲の卸売業とわたしたちの生活のつながり  
～日本最大級の魚市場・豊洲市場の卸売を見にいこう！～

普段見られない豊洲市場の裏側を見学できるチャンス！

**8/11(金)**  
**8:45～11:00**  
※集合時間：8:30

定員 15人  
対象 本学学生  
集合場所 ゆりかもめ市場前駅

◎本企画は  
・集合が多い服装、スカート、リンドル、ハイヒール等はNG  
・マスクの着用  
・服装に幅がない  
・公共交通機関を利用すること

QRコード  
お申し込みはこちら  
（QRコードの横に、お申し込みのメールアドレスを記入してください）  
（@kyopro.ac.jpまでご連絡ください）

【概要】  
近年、食離れや魚市場の関心の低下が指摘されているなかで、魚の仲卸業者の仕組みや市場の持つ役割などを学びながら、長い歴史を持つ世界最大規模の魚市場である豊洲市場を見学してみよう！また、実際に卸売業を行っている市場を見学していただくことで、卸売業や流通などに関心がある方はもちろん、あまり知識がない方でも理解を深めることができます。

【案内】東京魚市場卸協同組合  
1952年に設立された事業協同組合。卸売市場流通の中心役割を果たしており、豊洲市場の水産卸業者への関与した事業を展開している。

お問い合わせ先：法政大学学生生活課 03-3284-0475

## 2023年度・KYOPRO 活動報告

企画実施後のアンケートでは、実際に市場で働いている方にお話を聞くことが出来た点や立ち入りが難しいエリアを見学できた点がとても好評でした。

実際に見学をしたからこそ理解を深められたことも多く、貴重な機会だったと私個人としても感じました。本企画への参加をきっかけに市場をより身近に感じてもらい、自身の生活と結びつけることを期待し、改めて豊洲市場を訪れてもらえれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】人間環境学部人間環境学科 2 年 若松美月

### プログラムの様子



# 「光」が引き出す芸術の魅力 ～200年間のきらめきの軌跡を見よう～

**日 時** 2023年8月24日（木）10:00～12:00

**場 所** 国立新美術館（東京都港区六本木 7-22-2）

## 概 要

1. 参加者数：20 名
2. 講 師：国立新美術館
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 将来の進路において創造的かつ独自の視点をもつ
4. 内 容：



2023年8月24日に、「「光」が引き出す芸術の魅力～200年間のきらめきの軌跡を見よう～」を開催いたしました。

本プログラムは、学生に芸術の表現において非常に重要な役割を果たす「光」の効果を学ぶために企画されました。

実際に、国立新美術館で開催されている「テート美術館展 光 — ターナー、印象派から現代へ」を訪れ、作品の鑑賞を行いました。見学の冒頭では、展覧会の見どころを紹介いただきました。

「光の画家」と呼ばれるジョゼフ・ターナーやクロード・モネをはじめとする印象派の画家たちによる光の描写の追求、ブリジット・ライリー等の現代アーティストによってもたらされる視覚体験などが展示されていました。異なる時代、異なる地域で制作された絵画、写真、素描、キネティック・アート、インスタレーション、映像等の多様な作品を通じ、様々なアーティストたちがどのように光の特性とその輝きに魅了されたのかを知ることができました。

また、展覧会の鑑賞後には参加者同士で作品の感想を共有し合いました。その際には「光というのは見る時の感情や、見る角度によって感じ方が違う点が印象に残った。」「作品観覧 年代や表現によって光は様々な姿や印象となることに気づけた。」といった感想が共有され、参加者同士で楽しそうに対話している場面が多く見受けられました。特に、「グループワークで一つの作品に対して感じたことが人によって違うことが印象に残った」という方がいらっしゃるほど、多様な感想が共有されました。

このプログラムで学んだことを活かして、今後の芸術作品の鑑賞と理解に役立てていただければ幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】ハム ジュンソ（社会学部社会学科3年）

プログラムの様子



## 博物館で学ぶ放送の歴史

日時 2023年9月6日(水) 11:00~13:00

場所 NHK 放送博物館(東京都港区愛宕2-1-1)

### 概要

1. 参加者数: 18名
2. 講師: NHK 放送博物館
3. 実施目的:
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 放送の歴史を学び、放送の未来について考える



### 4. 内容:

2023年9月6日(水)に、法政大学課外教養プログラム「博物館で学ぶ放送の歴史」を実施いたしました。

本プログラムは放送業界がこれまで辿ってきた歴史を学び、放送を含めたメディアへの向き合い方、放送の未来について考えるきっかけを提供する目的で企画されました。

当日は学芸員の方のガイドを受けながら NHK 放送博物館を見学した後、グループワークと質疑応答を実施しました。

博物館見学では、放送の歴史に関するさまざまな実物展示をはじめ、ラジオ放送開始から現在までの歴史を網羅し、放送の未来を感じさせる展示でした。他にも館内の放送体験スタジオで参加者がニュース、天気予報やバーチャル映像を実際に使用し、プロンプター装置を使い、本物のニュースキャスターの気分を味わう体験ができました。

グループワークでは、「これまでの放送の役割や未来の放送」について話し合いが行われました。放送は今まで、迅速で正確かつ何よりもすべての人たちにとって公平公正な報道をすることや自由な表現によって豊かな文化の醸成をはかる役割を担ってきたという意見がでました。また未来の放送については、見学中にそれぞれが感じたことを踏まえ、自身が思い描いた未来の放送について積極的に発言していました。

グループワーク終了後の質疑応答では、学芸員の方が参加者の質問に答えた後、自分自身の放送に対する熱い思いを聞かせていただき、とても興味深く、貴重なお話でした。

今回のプログラムを通して、放送の歴史に興味を持ち、今後の展望を考えるきっかけになれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】(経済学部経済学科3年 高嘉隆)

プログラムの様子



## 水族館の裏側を深掘り！—海の生き物と私たちの関わりを知ろう—

日 時 2023年12月26日(火) 13:00~15:20

場 所 葛西臨海水族園

### 概 要

1. 参加者数：16名
2. 講師・案内：葛西臨海水族園
3. 実施目的：
  - 水族館で働く方の話を聞いたり、海の生き物の観察したりして、水族館の楽しみ方を実践的に学ぶ。
  - 企画への参加を通して海の環境問題にも関心を持ってもらう。
4. 内 容：

学生センター・課外教育プログラム  
(法政大学後援会賛助事業)

**水族館の裏側を深掘り！**  
—海の生き物と私たちの関わりを知ろう—

12/26 火  
13:00~15:30

※終了時間は前後する  
可能性があります

みなさん、なかなか観られない水族館の裏側を見学してみませんか？  
この企画では、マグロ水槽（バックヤードも含みます）を見学することを予定しています。  
その他、「初めての魚類観察学」のプログラムを企画し、魚を観察する楽しさを学びます。  
今後、水族館を見学する際に、より深く生き物を観察し、楽しめるようになるでしょう！  
また、企画への参加を通じて、昨今の海洋資源の減少などの環境問題にも興味を持つきっかけにもしてみてください！

案内：葛西臨海水族園  
場所：葛西臨海水族園  
集合場所：葛西臨海水族園のチケット売り場

定員：20名  
対象：本学学部生

お申し込みはこちらから  
ログインの際に使用するメールアドレスは  
ご自身の法政大学のメールアドレス  
(hstu.hosei.ac.jp) をご入力ください。  
市ヶ谷学生生活課 TEL 03-3264-9478

12月26日、法政大学課外教養プログラム「水族館の裏側を深掘り！—海の生き物と私たちの関わりを知ろう—」を実施いたしました。

本企画は、学生たちが海の環境問題や生き物について学び、関心や理解を深める事を目的としています。実際に葛西臨海水族園を訪れ、職員の田中隼人氏に講師として講義と案内をしていただきました。

プログラムは、最初に「初めての魚類観察学」を座学で学び、質疑応答を挟んだのち、マグロ水槽の表側と裏側を見学するという内容でした。

「初めての魚類観察学」では、生き物の観察の仕方や「泳ぐ」「食べる」といった視点ごとに生き物の体のつくりについて学びました。その後のマグロ水槽見学では、2班に分かれて表側と裏側を交互に見学しました。普段は見学することのできない裏側を案内していただき、他の水族館にはない巨大なろ過装置について説明していただきました。この装置を使って2200トンの水量を1時間で綺麗にしていることに驚きました。表側を見学したときには、座学の内容を踏まえて観察する事ができ、普段なら見過ごしてしまうような新しい発見をいくつもすることができました。田中氏が丁寧に質問に答えてくださるので、学生も積極的に質問をしていました。

企画後アンケートでは、「普段見ることのできない水槽の裏側を見ることができたので非常に面白かった」との声をいただきました。やはり、この企画でしか経験できない体験をできたことが好評でした。

本企画メンバーは、学生がこの企画での経験をもとに、他の水族館に行った際も新たな発見をしてほしいと思っています。そうすることで視野が広がり、学生生活がより充実することを願っています。

【報告・KYOPRO スタッフ】津嶋千早 法学部政治学科3年



プログラムの様子





# 東京六大学野球応援ツアー(明治大学戦)

**日 時** 2023年10月21日(土) 11:00~14:00

**場 所** 明治神宮球場(神宮球場)

## 概 要

1. 参加者数：42名
2. 協 力：法政大学野球部・法政大学応援団
3. 実施目的：
  - 「法政スポーツ」応援を通じた法政大学への帰属意識の涵養
  - 学生同士の交流のきっかけづくり

## 4. 内 容：

10月21日(土)神宮球場にて学生センター・課外教養プログラム「東京六大学野球応援(明治戦)」を実施しました。

今回のプログラムは「法政スポーツ」の応援を通じて、法政大学への帰属意識の涵養や学生同士の交流のきっかけづくりを目的として実施しました。本プログラムはコロナ禍による規制の影響により、3年間実施ができていませんでしたが、春学期より3年振りに復活したプログラムでした。

春学期に実施した際もそうでしたが、初めて六大学野球を観戦する学生が殆どでした。どのように応援をすればよいかわからないという学生も多かったですが、入場する前に学生応援席での注意事項や応援の仕方のレクチャーを応援団の方から行って頂いた事で安心して、観戦をすることが出来ました。

参加した学生は初めて見る応援団の応援に最初は戸惑っていましたが、応援団の指導によって徐々に応援団と一体となって、応援を行う姿が印象的でした。

試合は法政大学と明治大学どちらも譲らない試合展開でしたが、明治大学の攻勢によって、残念ながら、5-2で負けてしまいました。しかし、7回表の攻撃で2点を取った時には「スクラム校歌」で応援席全体が一つになり、参加した学生は一体感を持って応援することができました。試合終了後の校歌斉唱では参加した全員で肩を組んで校歌を熱唱し、法政大学への愛校心を涵養することが出来ました。

課外教養プログラムでは、今後も「法政スポーツ」の応援プログラムを実施していきます。



プログラムの様子



## 法政サッカー部を応援しよう！

日 時 2023年10月28日（土）13:30～17:00

場 所 法政大学城山サッカー場

### 概 要

- 参加者数：30名
- 協 力：法政大学サッカー部
- 実施目的：
  - 「法政スポーツ」応援を通じた法政大学への帰属意識の涵養
  - 多摩キャンパス活性化
  - 学生同士の交流のきっかけづくり

### 4. 内 容：

10月28日（土）法政大学城山サッカー場にて学生センター・課外教養プログラム「法政サッカー部を応援しよう！」を実施しました。

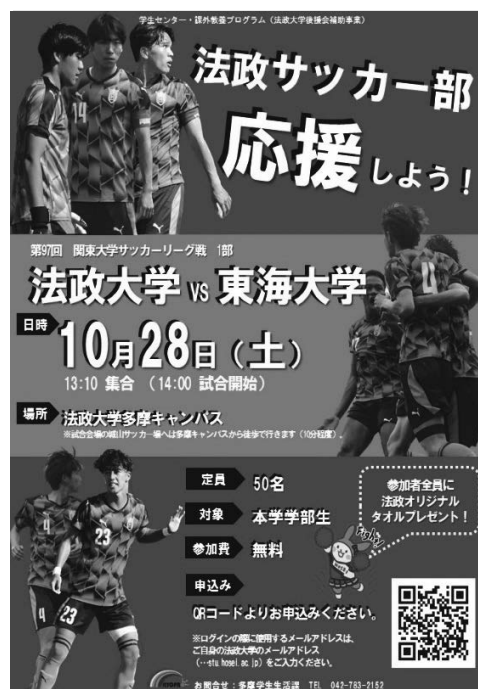
今回のプログラムは「法政スポーツ」の応援を通じて、法政大学への帰属意識の涵養や学生同士の交流のきっかけづくり、多摩キャンパス活性化を目的として実施しました。サッカー部を応援するプログラムの開催は今回が初めてとなりました。サッカー観戦が初めての学生だけでなく、城山校地に入ったのが初めてという学生が多かったです。

当日はサッカー観戦のポイントや今大会の概要、注目選手などについてサッカー部より詳しい説明があり、各選手のプロフィールやJリーグ内定選手の情報も掲載されているサッカー部作成のリーフレットが全員に配布されると、試合前から期待が高まりました。

また、会場の城山サッカー場は客席である石段のすぐ前がサッカー場となっており、選手たちのプレーを間近で見ることができました。応援席の近くでプレーが行われている時は、選手たちの掛け声も大きく聞こえ、より緊張感を感じられました。

今回の相手は東海大学。試合は厳しい展開が続き、残念ながら、1-5で負けてしまいました。しかし、後半35分にミドルシュートで1点を返した際には、参加者同士で隣の方とハイタッチをするなど大いに盛り上がった姿が印象的でした。参加者アンケートでは、「選手が全力で試合に取り組んでいる姿を見られた」「タオルをもって試合を応援出来てとても楽しかった」「サッカー部の方の最初のお話を聞くことができて良かった」という声を聞くことができました。

今回、初めてサッカー部の応援プログラムを開催しましたが、参加学生の満足度がとても高いプログラムとなりました。サッカー部だけでなく、さまざまな「法政スポーツ」応援プログラムを企画するので、ぜひご参加ください。



【報告】学生センター多摩学生生活課 佐藤貴広

プログラムの様子



# 印象アップ！色で見る新しいファッション

日 時 2023年11月7日(火) 15:30~17:10

場 所 多摩キャンパス EGG DOME 5階ホール

## 概 要

1. 参加者数：11名
2. 講 師：神宮彩子氏（色彩講師／色彩検定、カラーコーディネーター検定試験対策講座担当）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - より良い対人関係を作り出すファッションの価値を考える

## 4. 内 容：

2023年11月7日(火)に課外教養プログラム「印象アップ！色で見る新しいファッション」を実施いたしました。本プログラムは、衣服の色彩のバランスや形が人に与える印象について学び、適切なファッションの選択に役立てることを目的として開催されました。

当プログラムでは、講師として日本色彩検定協会より神宮彩子先生をお招きしました。神宮先生は東京商工会議所1級カラーコーディネーター（ファッション色彩）等色彩に関する資格を多数取得されており、色彩検定、カラーコーディネーター検定の試験対策講座担当として活躍されております。

講義では、相手に与えたい印象別の衣服のシルエットや自分自身の魅力を引き出すパーソナルカラーについて教えていただきました。具体的にはスカートの長さから受ける印象の違いなど、私たち学生にとって身近な例が多く毎日の服選びに取り入れやすい内容でした。

さらに、希望者数名には実際に神宮先生にパーソナルカラー診断を行っていただきました。診断を受けた方々の顔色や表情の変化を見て改めて色彩の力を実感し、とても感動しました。

今回のプログラムが、より良い対人関係を作り出すファッションの価値を考える機会になれば幸いです。



印象アップ！  
色で見る新しい  
ファッション

好印象を与える  
ファッションとは？

11月7日(火) 15:30~17:10

- ・場所：多摩キャンパス
- ・講師：神宮彩子氏

色彩講師／色彩検定、カラーコーディネーター検定試験対策講座担当

- ・定員：先着順30名
- ・対象：本学学部学生

●申込みはQRコードから▶▶▶

※Oラインの横には大学のメールアドレス(atuhoesaj.jp)をご入力ください。



【報告・KYOPRO スタッフ】（社会学部社会政策科学科2年 渡部日菜）

プログラムの様子



# ナイフやフォークの扱い方を知っていますか？ ～ぶれないマナーで一生ものの食事をしよう～

日 時 2023年11月17日(金) 17:00～18:40

場 所 西館2階 W212 教室

概 要

1. 参加者数：12名
2. 講 師：大林 千栄葵 氏  
(映画作家・感想家、「100年ごはん」監督、ホットサンド倶楽部主宰)
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 今後の学生生活に役立つ、新たなスキルの獲得

## 4. 内 容：

2023年11月17日(金)に課外教養プログラム「ナイフやフォークの扱い方を知っていますか？～ぶれないマナーで一生モノの食事をしよう～」を実施致しました。

本プログラムは、マナーを知り興味をもつこと、世界に通用する教養を身につけて一生ものの食事をする 것을目的として開催されました。当プログラムでは、国際プロトコルの講師であり、映画界でもご活躍されている大林千栄葵(ちぐみ)先生をお招きしました。

講義では、テーブルへの座り方から荷物の置き方といった基本からご教示いただき、カトラリーやお皿の置き方までを学びました。

それぞれのマナーやしきたりがどのようにして成立していったのかをその歴史的背景から学ぶことができ、付け焼刃ではない「ぶれない教養」を参加者は身に着けることができたと思います。

また、参加者は実演としてステーキの画像をお皿の上に置き、食べる所作を先生に見ていただきました。食べた後のカトラリーの置き方で正解者が一人もおらず、置き方の正解を知った参加者からは思わず驚きの声が上がりました。

今回のプログラムを通して、大切な人との食事の場において、参加者がマナーに助けられる日が来れば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】原一花(生命科学部環境応用化学科2年)



プログラムの様子





# すぐに役立つ！ずっと役立つ！カラーコーディネート講座

**日 時** 2023年 11 月 18 日（土） 14：30～16：30

**場 所** 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 5 階 523～526 短期会議室

## 概 要

1. 参加者数：15 名
2. 講 師：岩崎沙織 氏  
(カラールーム iroas 主宰・カラーコンサルタント)
3. 実施目的：  
■色彩やデザインに関する知識を学び、今後活かせるようになる
4. 内 容：



11 月 18 日、法政大学課外教養プログラム「すぐに役立つ！ずっと役立つ！カラーコーディネート講座」を実施いたしました。

本企画は、色彩の基礎に関する講義及び、色彩基礎を用いたトレーニングを行う機会を提供することで、参加した学生が色彩やデザインに関する知識をインプットし、今後の学生生活やその先の社会人になってからも実践できるようにすることを目的として実施しました。

本企画の講師にはカラールーム iroas 主宰でカラーコンサルタントの岩崎沙織様をお招きいたしました。プログラムは、企画前半では岩崎様より色彩の基礎に関する講義をしていただき、後半では講義で学んだことを生かし、4 人 1 グループでグループワークを行いました。

前半の色彩の基礎に関する講義では、色の持つイメージやそこから得られる色の心理的な効果、効果的で調和のとれた配色をするためのルール、PowerPoint の黄金配色比率などについて教えていただきました。パワーポイントや資料などを使って解説していただき、色彩について基礎的な知識が全くなくても、とても分かりやすい内容でした。

後半のグループワークでは、講義で学んだことを基に、資料に用意されたアイコン型のラフ図に色鉛筆を使って自身の SNS のアイコンを作成しました。グループワークを通して、参加者同士が活発に交流し、また、作成したアイコンもそれぞれの個性が出ていて面白く、参加者全員がグループワーク楽しんでくれている印象でした。

企画後のアンケートからも、「講義が分かりやすく、色についての基礎的な知識を得ることができた」・「グループワークを行ったことでより企画を楽しむことができた」などの声が多数あり、好評をいただくことができました。

## 2023年度・KYOPRO 活動報告

本企画で学んだことが、今後の学生生活、また、社会人になった後の生活で役立つものとなることを期待しています。

【報告・KYOPRO スタッフ】法学部法律学科2年 坂根遼太郎

### プログラムの様子



# 目が見えないってどんな感覚!? ブラインドサッカーを通して障がい者スポーツを体感しよう

**日 時** 2023年11月20日(月) 17:30~19:10

**場 所** 東館2階体育館

**概 要**

- 参加者数：14名
- 講 師：上林 知民 氏  
(ブラインドサッカー男子日本代表コーチ兼ガイド)
- 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 障がい者スポーツを知り、体験し、障がいのある方への理解を深めてもらう

## 4. 内 容：

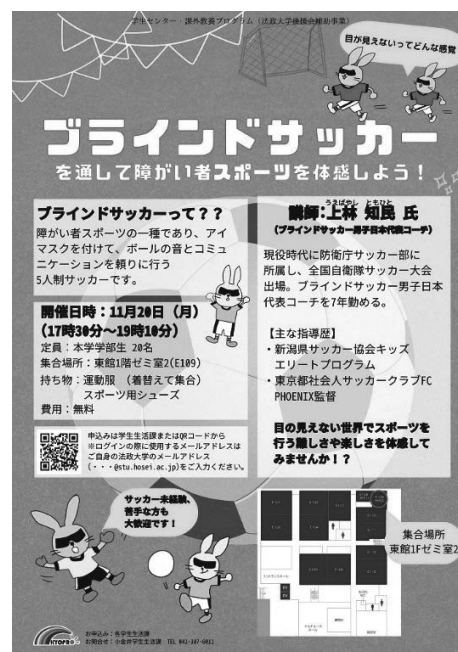
2023年11月20日(月)に、法政大学課外教養プログラム「目が見えないってどんな感覚!? ブラインドサッカーを通して障がい者スポーツを体感しよう」を実施いたしました。本プログラムはブラインドサッカーを参加者に体験してもらうことで、障がい者スポーツの楽しさを学んでいただくことに加え、障がい者の方々への理解を深めてもらうことを目的として企画されました。

当日は現ブラインドサッカー男子日本代表コーチの方が最初にブラインドサッカーの特徴について主に講義をし、その後グループワークと質疑応答を実施しました。講義では、ブラインドサッカーが音や仲間の声を頼りにプレイすることなどを実際に映像も交えての説明され、また目が見える人・見えない人の感覚の違いや人を思いやることの大切さについても話されました。グループワークでは、体育館で実際に参加者がアイマスクを付けてブラインドサッカーを体験しました。最初は目が見えない状態に慣れるためのグループごとにミニゲームを行いました。次に実際にボールを用いて、参加者同士が目が見える人・見えない人に分かれ、視覚情報がない分言葉で詳細に情報を伝えるため、全員が積極的にコミュニケーションを取り、交流を深めて楽しくプレイしていたのが印象的でした。

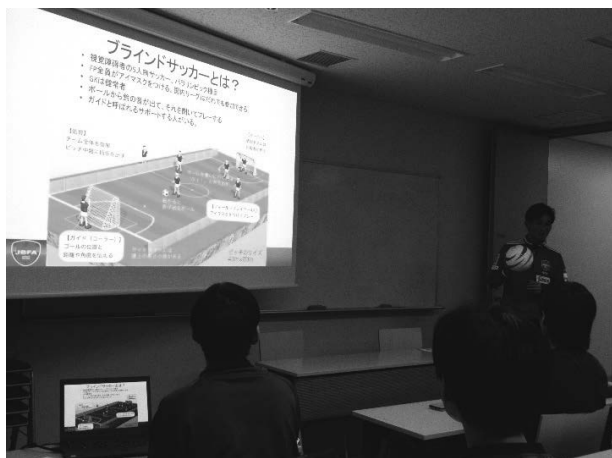
参加学生からは、「晴眼者と全盲者のコミュニケーションが大切という新たな学びを得られた。」「相手を思いやり考えるコミュニケーションをとることの大切さを学べた。」「パラスポーツの面白さを学ぶことができた。」など、多くの感想をいただきました。

今回のプログラムを通して、福祉としてだけではなく全員が同じ立場でコミュニケーションを取ることができる魅力的な障がい者スポーツを知り、これから障がい者の方々へ寄り添う気持ちを少しでも持っていいただければ幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】神崎秀輔（生命学部応用植物科学科学科4年）



プログラムの様子



## 交流しながら学ぶ！外国語としての日本語講座

日 時 2023年11月20日(月) 15:30~17:10

場 所 多摩キャンパス 総合棟4階 多目的教室

### 概 要

1. 参加者数：16名
2. 講 師：小西円 氏（東京学芸大学 大学教育基盤センター機構 国際交流/留学生センター）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 交流を通して日本語の認識の違いを学ぶ

### 4. 内 容：

11月20日(月) 多摩キャンパス総合棟にて「交流しながら学ぶ！外国語としての日本語講座」を実施いたしました。講師には東京学芸大学にて日本語教育を専門とし、日本語の文法やコミュニケーションに関する本を多数出版しておられる小西円氏をお招きいたしました。小西氏は国際交流/留学生センターにて日本語教育コースを展開し、日本語学習者の視点についても研究されています。

当プログラムでは、講師の小西氏が日本語の文法における特徴を説明し、その後学生に回答していただいた事前アンケートをもとに作成したクイズをグループに分かれて解きました。プログラム当日は、留学生と日本語を第一言語とする学生が同じグループになって活発に議論し、一人一人がクイズに対する自分の意見を積極的に出していました。各グループで考えたクイズの回答をグループ間で共有した際には、グループ同士の意見が真逆になることもありました。日本語に対する認識の違いは留学生と日本語を第一言語とする学生の間だけでなく、誰にでもあるということを学ぶ機会となったと思います。

参加者にとって自分自身がどのように日本語を理解しているのかを考えるきっかけとなり、非常に有意義な時間になったと感じます。プログラムの最後に行ったアンケートでも「日本語を複数の角度から理解できてよかった」「自分たちで意見を交わす場面も多く会話が盛り上がった」という感想が寄せられました。日本語を第一言語とする学生は日本語を普段何気なく使っていますが、その詳しい文法のルール、オノマトペ、若者言葉の使い方などを正確に説明することは難しいということを実感する機会を提供することができたと思います。参加者の学生の皆さんには、今後異なる文化背景を持つ人と交流する際に、本講義で学んだことを活かしていただければ幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】池田希咲（社会学部社会政策科学科 1年）

学生センター・課外教育プログラム（法政大学後援会補助事業）

留学生と仲良くしたい人  
大歓迎！！

交流しながら学ぶ！  
外国語としての日本語講座

11月20日(月) 15:30~17:10

場所：多摩キャンパス  
総合棟4階多目的教室

講師：小西円先生  
東京学芸大学  
大学教育基盤センター機構  
国際交流/留学生センター

対象：本学学部生/定員30名

↓お申込みはこちらから

※申し込みをする際にご使用するのは  
ご自身の法政大学のメールアドレス  
(...@stu.hosei.ac.jp)をご利用下さい。

お問い合わせ 多摩学生生活課 ☎ 042-783-2152

プログラムの様子



# 危険ドラッグの恐ろしさ～薬物乱用防止セミナー～

**日 時** 2023 年 11 月 24 日 (金) 15:30～16:40

**場 所** 多摩キャンパス：EGG DOME 5 階ホール  
市ヶ谷・小金井キャンパス：オンライン配信  
及びオンデマンド配信

## 概 要

1. 参加者数：266 名
2. 講 師：鬼頭英明 氏（法政大学スポーツ健康学部教授）
3. 実施目的：薬物の知識と心身に与える影響を正しく理解し、誘惑を断る意志確立と正しい規範育成を支援する。

## 4. 内 容：

2023 年 11 月 24 日に課外教養プログラム「危険ドラッグの恐ろしさ～薬物乱用防止セミナー～」を実施しました。

本プログラムは、2012 年度より実施しているプログラムで、本年度は多摩キャンパスでは対面開催、市ヶ谷・小金井キャンパスではオンライン開催としました。保健教育学を専門とする本学スポーツ健康学部の鬼頭先生をお招きし、大学生の薬物への意識や実態、健康への影響、薬物依存のきっかけなど様々な角度から薬物の危険性をお話いただきました。プログラム終了後は大学ホームページ上で期間限定のオンデマンド配信を行い、各学生団体の代表者は所属員への共有用として活用しました。

以下、学生アンケートです。（記された文面のまま記載）

- ・これまでも何度か薬物乱用についてのセミナーは受けたことがあったが、改めて知識の再確認ができたので良かった
- ・薬物乱用に関して日々ニュースで目にするようになってきているが、他人事だと決して思わずに自分の身の回りでも起こりうることでありとしっかり気をつけて生活していきたいと感じた。
- ・日本で法律が変わったのがリアルタイムで、自分たちもその危険性と隣り合わせにしていることについてきちんと断ること、危険であることの認知をしていくべきだなと感じた。
- ・私自身、オランダに行ったことがあるのだが、あそこの国も大麻は合法で、お土産屋のレジの横あたりに大麻キャンディや薬物らしきお菓子が置いてあったのが印象的である。海外では合法だからといって気軽な気持ちで薬物に手を出すべきではないと改めて感じた。
- ・自分には関係ないと思っていた危険なものが気づかないうちに身近なところで起こっているかもしれないということに恐怖を感じた。NO を言いにくいのが日本人ではあるが断るべきことはきちんと断るように律していけないといけないと感じた
- ・一部で安全であったり合法であるといったうわさがあるがやはり人体に害があり逮捕される可能性があるのは勿論として、周りとの関係などすべてを壊しうる薬物はやはり怖いものであると思った。周りへの発信も大切であると改めて感じ周りから被害者を出したくないと思った
- ・小学生の頃から、薬物に関する説明会は受けたきたが、最近あまり受けていなかったため、振り返りになりいい機会だった。大麻グミなど、危険な薬物は身近にあると学んだため、自分や友達は絶対使用しないよう気を





つけていきたい。

- ・オーバードーズなど、身近に薬物の乱用に繋がる可能性があるので心身の健康は大切だと思った。大学だと生活リズムが大きく乱れている人もいるのでそれらが不安定さを導きかねないため、律する必要があると思った。
- ・私が思っていた以上に、薬物乱用が大学生や若年層に浸透していて驚いた。近年の押収量の急増と検挙数の増加のグラフを見ていると、社会に薬物がどんどん忍び寄っているのだと理解でき、恐ろしいことだと思えた。また、サークルの責任者として薬物が周りの多くの人や環境を壊すことになるかと認知し、必ず薬物乱用を阻止しなければならないと認識できた。

## プログラムの様子





# 美味しいごはんで体調を整えよう！薬膳を知ろう！

日 時 2023 年 11 月 30 日（木）15:10～16:50

場 所 東館 2 階 E ゼミ室 3

概 要

1. 参加者数：18 名
2. 講 師：阪口 珠末 氏  
(株式会社漢方キッチン代表、日本中医薬大学講師)
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 自らの身体の状態を知り、最適な薬膳を学ぶ



## 4. 内 容：

現代人、特に大学生は日々の生活で不調をきたしている人が多く感じます。液晶画面を長時間見ることによる目の疲れや肩こり、気圧の変化による頭痛など様々な不調を抱える人も多いのではないのでしょうか。

本プログラムでは、体の不調の予防を食の面からアプローチできる「薬膳」について学び、薬膳について知っていただくとともに、健康的な食生活について考えていただきたいと思います。立案しました。

講師として日本中医学院講師である阪口珠末先生をお招きし、ご講演をいただきました。講義は、薬膳についてや中医学の考え方、留学経験や中国の医療サービスなどについて具体的にお話ししていただきました。また、自分の体質を知り、それぞれの特徴や、自分に合った薬膳を学べたことが印象に残りました。能動的に参加できる講義で薬膳についての学びが深められました。グループワークは薬膳的おからだ診断シートを用いて自分の体質のタイプを知り共有するとともに、抱える不調について話し合いました。その後、全体に共有しどのタイプが多いのか、どのような不調を抱えているのかを知ることができました。その後の講義で阪口様にフィードバックをしていただき、自分の体質についてより深く知ることができました。

本プログラムを通して薬膳の特徴や自身の体質、中医学の考え方について学びを深めることができました。

参加者して下さった学生にとって、自分の食生活について考えるきっかけになれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】才津梨華（生命科学部応用植物科学科学科 1 年）

プログラムの様子



# 健康を手に入れろ！献立マスター教室

**日 時** 2023 年 12 月 4 日（月）17:00～18:40

**場 所** 東館 1 階 E ゼミ室 2

**概 要**

- 参加者数：12 名
- 講 師：新田 理恵 氏（TABEL 株式会社 代表／管理栄養士）
- 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 自らの身体の状態を知り、最適な献立を学ぶ



## 4. 内 容：

2023 年 12 月 4 日（月）に課外教養プログラム「健康を手に入れろ！献立マスター教室」を実施いたしました。本プログラムは、食生活が乱れがちな大学生に健康で楽しい食生活を送ってもらうことをテーマに行いました。

当プログラムでは、講師として TABEL 株式会社代表・管理栄養士の新田理恵先生をお招きしました。新田先生は国際薬膳調理師でもあり薬膳、薬草をメインに活動していますが、講習会や料理教室などの豊富な経験がある方です。

食生活のアップデートを目標に活動されています。大学生の食生活をより良いものにしていきたいという今回のテーマにぴったりの講義を開催していただけたと考えました。講義では基本の栄養素などの栄養学の基礎の部分から、栄養バランスのいい献立の組み立て方、一日で必ず食べるべき食べ物などの献立作りのコツを教えてくださいました。学生でも活かしやすく、より良い食生活するために役立つ内容でした。

講義終了後には講義内容を踏まえたグループワークにて参加者で話し合い実際の献立づくりを行いました。各グループでテーマを決め献立作りを行うことでバリエーション豊かな献立が出来上がり献立作りの楽しさを実感することができました。

今回のプログラムが健康で楽しい食生活を送るための一歩になれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】伊東佳那（理工学部創生科学科 2 年）

プログラムの様子



# 知って作ろう！香水体験教室

**日 時** 2023年12月5日（火）17:00～19:00

**場 所** 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 5 階 523～526 短期会議室

## 概 要

1. 参加者数：19名
2. 講 師：三澤 朱実氏（LLP 日本香りデザイン協会代表理事・フランス調香師協会会員 パフューマー）

## 3. 実施目的：

- 香水の適切な使用方法や選び方、香害について学ぶ
- 学んだことを踏まえて香水作りの体験も行う

## 4. 内 容：

12月5日、法政大学課外教養プログラム「知って作ろう！香水体験教室」を実施いたしました。

本企画は、本学生が日常（リラックスしたい、集中したい、気分を切り替えたい等）に応じた適切な香りや成分とその作用を学ぶことで、より深く香水について理解し、生活を豊かにする香水の選び方・使い方ができるようになる機会を提供することを目的としています。

講師はフランス調香師協会会員であり、LPP 日本香りデザイン協会 代表理事でもある三澤様をお招きいたしました。三澤様は、最高の素材を求めて海外を旅しながら、香水の制作や香水講座の運営、企業や行政、大学等でセミナーやイベントを開催されています。

本企画は、法政大学市ヶ谷キャンパス外濠校舎 5 階 523-526 短期会議室にて対面で実施しました。

プログラムは三澤様からの講義をはじめ、参加学生と三澤様の間での質疑応答、また、実際に参加学生が香水を制作するという内容でした。

まず、三澤様に香水の種類や選び方、正しい使い方や香害について講義をしていただきました。普段、詳しく香水について学ぶ機会は少ないため、この講義は多くの参加学生にとって、とても興味深いものであったと思います。どの学生も熱心に講義を聞いておりました。講義後の質疑応答の時間には多くの質問が飛び交い、参加学生にとって、非常に有意義な時間でした。

次に講義内容を踏まえ、三澤様のご指導のもと、香水製作を行いました。はじめに 10 種類の香水の中からベースとなる香水を 1 種類選び、次にアクセントとなる香りを 5 種類の香水

から選んで混ぜ合わせました。どの香りが自分の好みか、自分に 1 番似合うかを、グループで話し合ったり、考えたりしながら、制作している様子が印象的でした。

本企画に参加するまでは、香水に興味を持っていたも「正しい選び方や使い方がわからない」、「周りに不快な思いをさせないか心配」というような悩みを持っている人も多かったかと思います。

今回の企画を通して、香水の正しい知識を身に着け、日常生活で香水を楽しむようになるきっかけになれば幸いです。



プログラムの様子



# 大学生のための工場見学

日 時 2023年12月9日(土) 13:30~16:30

場 所 見学：猿田彦珈琲調布焙煎ホール  
講義：調布市民プラザあくろす

## 概 要

1. 参加者数：15名
2. 協 力：大塚 朝之氏（猿田彦珈琲株式会社 代表取締役）
3. 実施目的：  
■焙煎所見学と講義を通して、学生がキャリアについて考える機会を提供する。
4. 内 容：

12月9日、法政大学課外教養プログラム「大学生のための工場見学」を実施しました。

本企画はコーヒー豆の焙煎所見学と講師による講義を通して、学生がキャリア選択に関する意識を高める機会を提供することを目的としています。講師には、本学文学部哲学科の卒業生で、現在は猿田彦珈琲株式会社代表取締役である大塚朝之氏をお招きいたしました。

本企画は猿田彦珈琲調布焙煎ホール、調布市市民プラザあくろすで実施しました。

プログラムは猿田彦珈琲調布焙煎ホールにて、焙煎所見学を行った後、調布市市民プラザあくろすで大塚氏に講義をしていただくという内容でした。

見学パートでは、参加者を焙煎所見学班と焙煎所に併設されているカフェスペース内を見学する班に分け、交代で見学を行いました。一般公開していない焙煎所やコーヒー豆の貯蔵庫を見学させていただき、「コーヒー豆のフェアトレード」といった海外のコーヒー豆農家との裏話や焙煎の仕方や焙煎器についてのお話をお聞きしました。

見学後、大塚氏に「猿田彦珈琲が有名になるまで」「法政大学でのエピソード」などをお話していただきました。個人的には参加者と距離感がとても近く、また参加者の質問に最後まで付き合ってください、気さくなお姿がとても印象的でした。

全体を通して、参加者が積極的に講師に質問をしたり、参加者同士で仲良く会話したりする様子が見受けられ、和気藹々とした雰囲気の中で企画を実施出来ました。

本企画を通じて、従業員の視点と経営者の視点から企業運営について学ぶことができたかと思います。また、法政大学卒業生である大塚氏が在学していた際のお話は参加者にとって、今後のキャリア選択をする際の参考になったのではないのでしょうか。



## 2023年度・KYOPRO 活動報告

今後も課外教養プログラムプロジェクトでは、参加者に多くの知見や、学年、キャンパスを超えた繋がりを築けるような機会を提供できる企画を実施していきます。

【報告・KYOPRO スタッフ】文学部地理学科 1 年 小松祐輝

### プログラムの様子





# 現役フラガール学生がフラダンスの魅力を教えます！

**日 時** 2023 年 12 月 14 日（木）17:20～19:00

**場 所** 多摩キャンパス EGG DOME 3 階多目的教室

## 概 要

1. 参加者数：9 名
2. プレゼンター：Na Pua Alani（ナプ アラニ） 代表（社会学部 1 年）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践

## 4. 内 容：

2023 年 12 月 15 日、多摩キャンパスにて課外教養プログラム「現役フラガール学生がフラダンスの魅力を教えます！」を実施しました。学生センターの「私が教えます！」プログラムは、自身の取り組み、特技、資格、活動を通じての成長、失敗談など、自身の経験を自らにとどめることなくほかの学生に惜しみなく伝え、紹介したい学生のためのエントリーシステムです。

Na Pua Alani の代表は 5 歳からフラダンスを始め、数々の国内コンテストで優勝し、ハワイ大会にも出場した経験があります。多摩キャンパスではフラダンスサークルがなかったため、代表が SNS 等でメンバーを募り、サークルを作りました。現在は、月に 1 度外部講師を招いて指導を受けたり、イベントに参加して披露したりと積極的に活動をしています。今回のプログラムでは、フラダンスで普段何気なく言葉にされている「ALOHA」の本当の意味を伝え、少しでもフラダンスに興味を持ってもらいたいと思い、プレゼンターとして応募したそうです。

プログラムでは、まず Na Pua Alani の普段の活動について紹介をし、その後フラダンスの魅力について説明していただきました。フラダンスは手話のように一つ一つの動きに意味があることや、ALOHA に込められた意味についての説明時は参加学生も興味津々に聞いていました。座学の後、実際にフラダンスを体験しました。始めにフラダンスの基本ステップである「カホロ」を学んだのち、「Ka pua maka onaona」という曲を踊りました。参加学生はステップを踏みながら振りを覚え、表情まで意識するということに苦戦をしていましたが、最後は 1 曲通して踊れるようになっており、とても楽しみながら体験をしていた姿が印象的でした。

実施後のアンケートでは、「うまく踊れないことを恥ずかしく思わない雰囲気良かったです」「普段は体験できないフラを直接踊りかつ意味についても勉強できる貴重な時間でした」と大好評であり、見ることはあっても体験する機会が少ないフラダンスの一つ一つの動きの意味や ALOHA から学ぶ人間性まで教えていただけました。参加学生には今回学んだことを日常生活でも活かしていただければと思います。

学生センター・課外教養プログラム（法政大学後援会補助事業）

## 私たちが教えます！

現役フラガール学生が  
フラダンスの魅力を教えます！

～ Na Pua Alani ～

【プレゼン概要】  
Na Pua Alani（ナプ アラニ）は多摩キャンパスで活動するフラダンスサークルです。フラで馴染みのある「ALOHA」の本当の意味を、実際に体験しながら学びます。

【代表活動実績】  
・Hula 'Oni E 2017(ハワイ大会)団体Auana 3位  
・ハイスクールフラコンペティション2022個人3位

★初心者大歓迎！  
★1人での参加も歓迎！

**12月14日(木) 17:20～19:00**  
場所：多摩キャンパス EGG DOME  
3階多目的練習室  
申込：こちらのQRコードから

ログインする際に使用するメールアドレスはご自身の法政大学のメールアドレス（…@stu.hosei.ac.jp）をご入力ください。

お問い合わせ：多摩学生生活課 TEL 042-783-2152

【報告】学生センター多摩学生生活課 佐藤貴広

プログラムの様子



## ～IT で地域課題を解決！？ 加賀市のスマートシティから未来のまちづくりを学ぼう

**日 時** 2023 年 12 月 15 日（金）16：50～18：50

**場 所** 市ヶ谷キャンパス外濠校舎 5 階  
523～526 短期会議室

### 概 要

1. 参加者数：18 名
2. 協 力：廣瀬克哉 氏（法政大学総長）  
岡田隆之 氏（加賀市政策企画部）※ゲストスピーカー
3. 実施目的：  
■デジタルと行政の関係や実際の政策について学び、行政や政策について自ら考える機会を提供する

### 4. 内 容：

12 月 15 日、「～IT で地域課題を解決！？～加賀市のスマートシティから未来のまちづくりを学ぼう」を実施いたしました。



本企画は、デジタルと行政の関係や実際の政策について学び、行政や政策について自ら考える機会を提供することを目的としています。講師には法政大学総長である廣瀬克哉氏と加賀市政策企画部の岡田隆之氏をお招きいたしました。廣瀬総長は行政学、公共政策学、地方自治がご専門であり、複数の自治体の条例制定過程の支援にも携わっていらっしゃいます。本企画は対面で実施いたしました。プログラムは廣瀬総長と岡田氏からの講義に加えて、参加者間のグループワークを行うという内容でした。

まず、廣瀬総長に加賀市の現状と移動手段に関する課題についてお話いただきました。MaaS を活用したスマートシティ化への取り組みなどについて、参加学生は熱心にメモを取りながら講義を聞いていました。

その後、『①免許を持っていない高校生や高齢者の移動 ②加賀温泉は有名な観光地で知られているが温泉自体は市内に分散しているという状況に対し、スマートシティというビジョンや SDGs 未来都市という観点から解決策を考える。』というテーマでグループワークを行いました。話し合い終了後には、各グループが考えた解決策について発表を行い、廣瀬総長と岡田氏からフィードバックをしていただきました。

どのグループも、加賀市の地図を調べながら話し合うなど積極的に取り組んでいる姿が印象的でした。さらにその後は、岡田氏からデジタル技術を活用した加賀市の取り組みを中心にお話いただきました。現場の視点からみたお話を聞く機会は、参加学生にとって貴重な経験になったと感じています。

今回の企画が、参加学生にとって自分自身の住む街の状況に目を向けるきっかけとなれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】岩崎正太郎 経営学部経営学科 3 年

プログラムの様子



# 日本庭園の初歩～日本庭園に行って学ぼう～

日 時 2023年 12月 17日 (日) 10:00～12:00

場 所 小石川後樂園

## 概 要

1. 参加者数：17 名
2. 協 力：東京都公園協会 小石川後樂園サービスセンター
3. 実施目的：
  - 普段訪れる機会がなかなか無い日本庭園に足を運び、日本庭園やそれに纏わる日本文化について学ぶ

## 4. 内 容：

12月17日、法政大学課外教養プログラム「日本庭園の初歩～日本庭園に行って学ぼう～」を実施いたしました。

本企画は、普段訪れる機会がなかなか無い日本庭園に実際に足を運び、日本庭園やそれにまつわる日本文化に関する教養を学ぶことを目的としています。今回は法政大学市ヶ谷キャンパスからも近い、小石川後樂園にて企画を実施しました。

講師には小石川後樂園を管理されている東京都公園協会の西山礼美氏、北村葉子氏をお招きし、講義と小石川後樂園の解説をしていただきました。

プログラムは日本庭園の基礎的な知識を座学でレクチャーして頂いた後に、実際に小石川後樂園を散策しながら、日本庭園の造園技法や小石川後樂園の特徴などを教えていただくという内容でした。

まず、講義では日本庭園の概要や、東京都公園協会が管理しているその他の庭園の特色について学びました。日本庭園と他国の庭園の違いや、本庭園内の違いを比較する形であったの、初心者でもわかりやすく学ぶことができたかと思えます。その後の散策では、実際に実物を見ながら解説して頂いたので、技法の効果を実感することができました。さらに、技法の裏にある歴史や、日本人が昔から大事にしていたことなどについてもお話があったため、参加者は日本庭園だけでなく、庭園に付随する日本文化に対しても親近感が湧いたのではないのでしょうか。散策中は、列の前後に講師の方がいらしたので、いつでも質問できる状況であったことが良かったと思います。

企画後アンケートでは、「庭園造園者の意図がわかり、今後日本庭園を訪れた際に、深い視点で見ることができるとのお声をいただき、新たな視点を得るきっかけを作ることができた企画となりました。

本企画を通して、日本文化について興味関心を持った学生が、その魅力を海外の人や、周りの友人、家族に伝えられるようになり、日本文化から学んだものの見方や考え方を学生生活に応用して頂ければ幸いです。



プログラムの様子



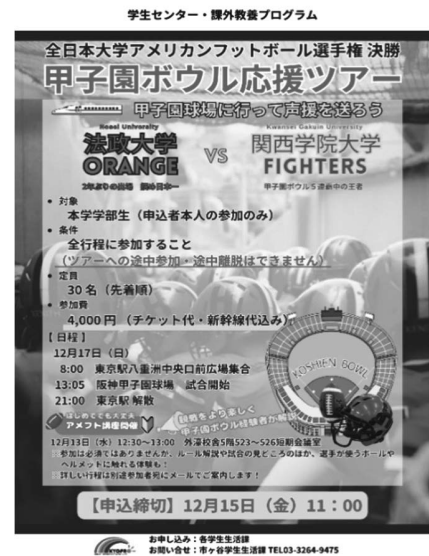
# 甲子園ボウル応援ツアー(関西学院大学戦)

日 時 2023年12月17日(日) 13:05~16:00

場 所 阪神甲子園球場

## 概 要

1. 参加者数: 30 名
2. 協 力: 法政大学体育会アメリカンフットボール部  
法政大学応援団
3. 実施目的: 法政大学体育会のスポーツの試合を観戦する事で  
法政大学への愛校心を涵養する
4. 内 容:



12/17(日) 阪神甲子園球場にて、学生センター主催課外教養プログラム「甲子園ボウル応援ツアー」を実施しました。

甲子園ボウルは大学アメリカンフットボールの東日本代表と西日本代表の試合で、今回法政大学は東日本代表校決定戦を勝ち抜き、2年振りに東日本代表として、西日本代表の関西学院大学に挑みました。当日はアメリカンフットボールを初めて観戦する学生も複数いましたが、事前学習の資料を持参したり、学生同士でルールの確認をしたりしながら、大きな声援を送りました。

特に法政オレンジが果敢に攻め込み、得点した場面では、学生同士が大いに喜び合い、一体感のある企画となりました。

学生からは「選手たちのパフォーマンスや正々堂々と相手に立ち向かっていく姿に感動した」、「大学の学生が一体となって戦っている雰囲気を味わういい体験になった」、「大学生でしか得られない経験ができた」といった声が寄せられました。

今後も、学生センターはスポーツ応援企画を通して、学生同士の繋がり・交流をサポートする企画を実施していきます。

## プログラムの様子







## 海外旅行をもっと楽しむために！ プロから教わる旅のヒント

日 時 2023 年 12 月 21 日（木）17:20～19:00

場 所 多摩キャンパス 総合棟 4 階多目的教室

概 要

1. 参加者数：16 名
2. 講 師：吉田友和 氏（旅行作家）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 海外旅行の魅力を伝えるとともに海外旅行に関する知識を学ぶ機会を提供する

#### 4. 内 容：

2023 年 12 月 22 日（金）に課外教養プログラム「海外旅行をもっと楽しめに！プロから教わる旅のヒント」を実施いたしました。

本プログラムは学生に海外旅行の魅力を伝えるとともに、海外旅行に関する知識を学ぶ機会を提供することを目的として開催されました。

講師として旅行作家の吉田友和先生をお招きしました。吉田先生はこれまでに約 90 か国を訪問されており、雑誌や WEB メディアへの寄稿・記事監修のほか、編集者として旅行ガイドの制作などを手がけていらっしゃいます。

講義では海外旅行の前に準備すべきことや、旅行プランの立て方、旅行中のトラブル対処法などを、実体験を踏まえながら詳しくお話しいただきました。講義終了後は、海外旅行のプランを考えるグループワークを行い、吉田先生からそれぞれのグループで出たプランに対し、フィードバックをいただきました。

企画終了後のアンケートでは「自分が旅をするときタメになる知識を得られた」「先生の知識量が多く、とても参考になり、海外旅行への面白さをより感じる事ができた」といった声が寄せられました。

参加した学生が実際に海外を訪れた際、本プログラムで学んだ知識を活かして、充実した体験ができれば幸いです。



【報告・KYOPRO スタッフ】（社会学部社会学科 3 年 佐々木 美紗）

プログラムの様子



## 《初心者向け》姿勢・からだの歪み改善に！ ～ピラティスのすすめ～

日 時 2023年12月22日(金) 15:10～16:50

場 所 東館3階小体育室

概 要

- 参加者数：15名
- 講 師：菅原 順二 氏  
(パーソナルトレーナー／株式会社 arancia 代表取締役)
- 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 自身の身体の現在の状態を知り、実際にピラティスを体験し、今後の生活習慣の改善につなげる

#### 4. 内 容：

2023年12月22日(金)に、法政大学課外教養プログラム「《初心者向け》姿勢・からだのゆがみ改善に！～ピラティスのすすめ～」を実施いたしました。本プログラムは、運動する機会のない学生が日常的に運動を行えるようになる運動法であるピラティスを通して習得することを目的として企画されました。

当日は法政大学OBであるパーソナルトレーナーの菅原順二さんをお招きし、ピラティスや身体のゆがみが起こる原因についての講義と、グループワークにてピラティスの実践と質疑応答を実施しました。講義では、ピラティスの起源や歴史、ストレートネックや腰痛などの現代人が発症する症状の原因について説明されました。また、自分の身体を知ることの重要性についてもお話いただきました。グループワークでは、体育館で実際に参加者がピラティスを実践しました。背骨や肩甲骨を意識した動きを行い、ペアワークでお互いの動きを観察しながら身体の使い方を学びました。ピラティスの基本動作であるロールアップやティーザーなどを体験し、自身の足りない部分や普段から動かしていない身体の部分を認識できました。参加学生が積極的に運動に取り組んでいたのが印象的でした。

参加学生からは、「日常生活における背骨の大切さを学んだ。」「ピラティスを体験できて良かった。」「自分の身体をもっと良くしようという意識が芽生えた。」など、多くの感想をいただきました。

今回のプログラムを通して、自分の身体を知ることの大切さを学び、運動を日常的に行う習慣として身に付けるきっかけとなれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】野村心見（生命科学部環境応用化学科2年）



プログラムの様子



# 無機質なロボットが人間社会に馴染むには？ 心理学から問題解決に迫る！ ～不気味の谷現象の視点から学ぼう～

**日 時** 2024 年 2 月 19 日（月）13:20～15:00

**場 所** Zoom によるオンライン開催

**概 要**

1. 参加者数：18 名
2. 講 師：佐々木 恭志郎 氏（関西大学総合情報学部 准教授）
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - 現状を知ることにより、新たな視点の発見につなげる
4. 内 容：



2024 年 2 月 19 日（月）に、法政大学課外教養プログラム「無機質なロボットが人間社会に馴染むには？心理学から問題解決に迫る！～不気味の谷現象の視点から学ぼう～」を実施いたしました。日常生活においてありふれている様々な現象の中で、将来ロボットとの共生が予想されている現代に最適なテーマである『不気味の谷現象』について知ってもらいたいという思いで本プログラムを開催いたしました。

プログラムの流れは、まず心理学についての導入から始まり、不気味の谷現象の心理学実験及びグループワーク、そして不気味の谷現象の現在の応用例、最後に質疑応答を行いました。講義では、心理学初学者にも理解しやすいように説明がなされました。その知識を得た段階で不気味の谷現象の心理学実験を行ったためグループワークでの考察が捗りました。また、今後の展開ではラベル化による不気味度の変化やクローン減価効果などの話を通して、興味深いと思わせる講義をしていただきました。心理学実験では、各画像の不気味度とカテゴリー化の容易性を評価しました。この実験を通して、参加学生は不気味度とカテゴリー化の容易性の相関性を実感することが出来ました。グループワークでは心理学実験の目的及び気づきについてグループごとに話し合いを行いました。計 5 つのグループから様々な意見が繰り出されており、どのグループも考え方の軸が正しく、尚且つ興味深い意見を出すグループが複数あり、不気味の谷現象についてより深く探求することができた。

参加学生からは、「不気味さを感じる原因について実際に体験できたのが良かった。」、「不気味の谷現象について知らなかったが講義を通して理解し興味深いや感じた。」、「不気味の谷現象における不気味さと食わず嫌いにおける好き嫌いに関連性があることに驚いた。」など、多くの発見・関心の向上の感想をいただきました。

今回のプログラムで得た不気味の谷現象についての知識を活かし、参加学生が専門とするフィールドにおいて応用することや、他にも身近に存在する現象について視野を広げるきっかけとなれば幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】市川結梨（生命科学部生命機能学科 1 年）

## プログラムの様子




# 認知心理学

感覚・知覚・認知・行為・意思決定などの  
仕組みを(主に行動)実験により解明する

メインアプローチは実験室実験



## 星空観望会ー冬の星空の魅力に迫るー

日 時 2024年2月24日(土) 18:10~20:00

場 所 多摩キャンパス 円形芝生、総合棟多目的教室

### 概 要

1. 参加者数：33名
2. 協 力：天体観望支援団体「宇宙魅せ隊」
3. 実施目的：
  - 学生が星や宇宙に興味をもつきっかけ作り。
  - 多摩キャンパスの魅力を再発見。

### 4. 内 容：

2月24日(土)に課外教養プログラム「星空観望会ー冬の星空の魅力に迫るー」を開催いたしました。

このプログラムは昨年開催したプログラム「星空観察ー多摩キャンパスの冬の星空ー」のリバイバル企画となります。講師には、様々な学校等で望遠鏡を用いたイベントを実施している「宇宙魅せ隊」の皆さんを再びお招きしました。

当日の流れは、まず、総合棟4階の多目的教室にて宇宙魅せ隊の高畠様に天体の解説をしていただき、その後円芝へと移動し、屋外での天体観望を行いました。

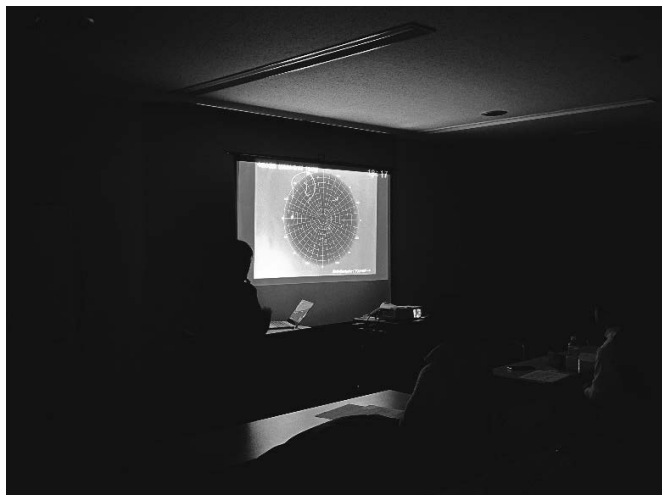
観望については、当日は曇り空で、当初の予定していた天体は見ることができませんでした。雲の間から天体望遠鏡を用いて、木星、月(当日は満月でした)、ベテルギウス等を観望することができました。望遠鏡それぞれに講師の方がつき、参加者は天体を見ながら解説を受けることができました。その中で各々講師の方に質問したり、話しかけたりと参加者の積極的な参加が見られました。

昨年度は悪天候により、星空観望を行えなかったことを考えましても今回の企画で観望を行うことができ、とてもほっとしております。

今回のプログラムではスタッフの感覚としましても参加者アンケート結果を見ましても非常に満足度の高い企画を行うことができたと思います。



プログラムの様子





# 美術探求ツアー in アーティゾン美術館

日 時 2024 年 3 月 1 日 (金) 13:00~15:00

場 所 アーティゾン美術館

## 概 要

1. 参加者数：18名
2. 講師・企画協力：アーティゾン美術館教育普及部
3. 実施目的：
  - 対話型鑑賞（鑑賞者同士の感想をもとに作品への理解を深める鑑賞方法）ツアーを美術館協力のもと実施する。
  - 参加者が美術鑑賞を共にする仲間と出会い、美術に対してより一層親しみを感じてもらう。

## 4. 内 容：

3 月 1 日 (金) に法政大学課外教養プログラム「美術探求ツアー in アーティゾン美術館」を実施いたしました。

今回のプログラムは、幅広いジャンルの絵画に触れてもらい、参加者同士・学芸員との対話を通して多くの人と鑑賞することの楽しさを知ってもらうことを目的として実施しました。

プログラムはアーティゾン美術館教育普及部学芸員の江藤様、新畑様、細矢様を講師に迎え、企画のご協力をいただき、アーティゾン美術館で開催されました。複数のグループに分かれて「石橋財団コレクション選」の作品の鑑賞が行われました。グループごとに指定された作品とじっくり向き合い、気づき、印象、思い浮かんだ感想などをメモしていくという鑑賞で、どの学生もメモをする手は止まることなく絵画から感じるものが多かったようです。

鑑賞後は、レクチャールームでメモをもとにそれぞれが絵画に抱いた印象や感想を共有し合いました。抽象絵画を鑑賞したグループは人によって作品の見え方が大きく異なったようで、興味深く相手の感想に耳を傾けていました。時には共感できる感想があり盛り上がる場面もありました。

グループワーク後は全体へ共有する時間が設けられ、その後学芸員さんからそれぞれの作品の制作背景などを解説していただきました。

解説は作品の情報をすることで、より一層作品の理解度が深まることを実感させる興味深いものでした。企画が終了しても学芸員さんにお話を聞きに行く学生の熱心な姿も見受けられました。

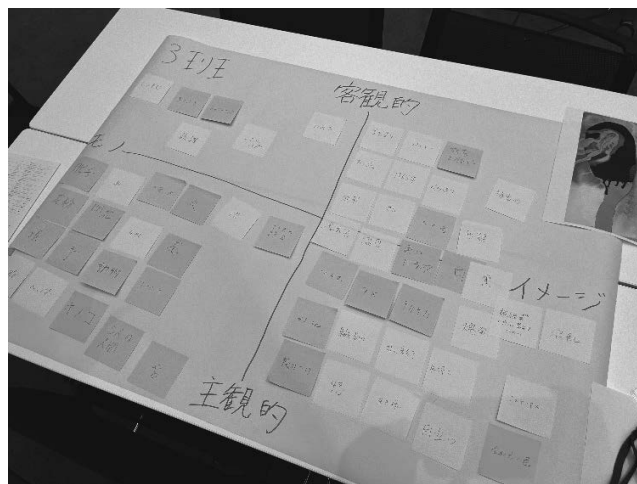
一つの作品にじっくりと向き合い仲間と意見を交わすこと、学生が普段お話しする機会が少ない学芸員さんのお話を伺える貴重な機会を提供できたことで参加者の方からはご好評をいただいております。

本企画への参加をきっかけに、画家の制作背景などにも関心を向け、一歩踏み込んで美術への理解を深めていただき楽しんでいただければ、嬉しく思います。



【報告・KYOPRO スタッフ 八鍬杏実 法学部政治学科 4 年】

プログラムの様子



## 獣が自然を食い漁る！？～私たちは食害とどう向き合うか～

日 時 2024年3月4日(月) 14:00～15:40

場 所 Zoomによるオンライン開催

### 概 要

1. 参加者数：11名
2. 講 師：鞠子 茂 氏（法政大学社会学部 教授）
3. 実施目的：

■食糧問題を新たな観点から見直す。

### 4. 内 容：

2024年3月4日に、「獣が自然を食い漁る！？～私たちは食害とどう向き合うか～」をZoomで開催いたしました。本プログラムは、獣害や食害の概要を知り、それを予防・防止する方法を学ぶ目的で企画いたしました。

プログラムは、グループワークを実施した後、鞠子氏にご講演をいただき、質疑応答をするという流れで進行了しました。グループワークでは、「シカやクマのイメージ・経験談」と「食害や獣害を予防・防止する方法」を話し合いました。食害の防止・予防の方法についてのワーク中には、「野生生物が食害をする背景に、食糧の不足が考えられると思う。食糧不足を予防するために森づくりが重要ではないか」などの意見がありました。

講演では、食害の歴史、食害が自然環境にもたらす影響、多摩キャンパス周辺の食害の状況、食害を防止する方法などをご講演いただきました。森林の防護対策としては、防護柵、短期保護、忌避剤が考えられ、なかでも防護柵が現実的だという内容を教えていただきました。講演中の「食害や獣害は、人間の立場から見ると生活に及ぼすことがあるかもしれない、一方でシカやクマにとっては食べ物を食べるという生きる上で必要なことをしている」というお話が印象に残りました。

また、野生動物と人間が同じ場所で生活する共存は難しいが、人間と野生動物が別々の場所で暮らすすみわけという考え方があることも大変勉強になりました。

今回のプログラムが人間と野生動物とのすみわけや食害や獣害に関して考えを深めるきっかけになれば幸いです。



【報告・KYOPRO スタッフ】経済学部経済学科 4 年 前島怜佳

プログラムの様子



# 見たい！知りたい！着てみたい！着物の世界

日時 2024年3月4日（月）14:15～16:45

場所 市ヶ谷キャンパス富士見坂校舎 6 階 和室

## 概要

- 参加者数：15名
- 講師：民族衣裳文化普及協会 小野寺邦子様 酒井久江様
- 実施目的：
  - 着物・日本文化の教養について講義を通して学ぶ
  - 着物の着方を身につける機会を提供する

## 4. 内 容：

3月4日、法政大学課外教養プログラム「見たい、知りたい、着てみたい！着物の世界」を実施いたしました。

本企画は、学生たちが着物という日本文化について学び、着物の着方や着物に関する教養を身に着けることを目的としています。民族衣裳文化普及協会の酒井久江氏と小野寺邦子氏を講師にお招きしました。

当日は、着物の種類に関する講義、事前に募集した質問への回答、振袖と黒紋付羽織袴の着付けの実演、自分で着物を着る体験という流れで行いました。

着物の種類に関する講義では、着物の種類とそれぞれがこういった場面で着用されるのかを学びました。その後の質問への回答では、酒井講師が最近素敵だと思った着物やお手入れの仕方に関して教えていただきました。着付けの実演では普段なかなか見ることのできない着付けを、参加者の皆さんは興味深そうに見学していました。

最後の自分で着物を着る体験では、男性は浴衣、女性は着物でそれぞれ行いました。男性は何度も浴衣の帯の結び方などを練習し、参加者の方からは「繰り返し練習できて良かった。」との感想をもらいました。女性の着付けでは、初めての体験ということもあり苦戦しながらも、酒井講師と小野寺講師の丁寧な指導のおかげで、最終的には全員が無事に着物を着ることができました。着物、浴衣姿で記念撮影を行うなど、嬉しそうにしている参加者をみて私たちも大変嬉しく思いました。

企画後アンケートでは、「着物の着付けができてよかったです！」、「今までは着物はよく分からず敬遠しがちだったが、今までより身近に感じるようになったと思う」との声いただきました。着物文化に触れ、実際に着物を着ることで、身近に感じる事ができた点が好評でした。

本企画メンバーは、学生にこの企画での経験をもとに、より一層着物という日本文化に関心を持っていただけることを願っております。



【報告・KYOPRO スタッフ】菅原花歩 法学部政治学科 1 年

プログラムの様子



## 体験して学ぶおもちゃの文化

日 時 2024 年 3 月 18 日 (月) 10:00~13:00

場 所 東京おもちゃ美術館  
(東京都新宿区四谷 4-20 四谷ひろば内)

### 概 要

1. 参加者数：12 名
2. 協 力：東京おもちゃ美術館
3. 実施目的：
  - 学生がプログラムを企画・運営することによる「ピアサポート」の実践
  - アナログなおもちゃでの遊びの文化的価値を再確認するきっかけづくり

### 4. 内 容：

2024 年 3 月 18 日に、「体験して学ぶおもちゃの文化」を開催いたしました。

本プログラムは、学生にアナログなおもちゃでの遊びの幼児教育的価値だけではなく文化的・社会的価値を再確認するきっかけを提供するために企画しました。

実際に東京おもちゃ美術館を訪れ、レクチャーの受講と質疑応答、グループワーク、作品の体験と鑑賞を行いました。

レクチャー内では、実際に展示されているおもちゃを用いてルーツや作成における背景などを説明していただきました。おもちゃに求められる役割の違いによってそれが持つ意味や地理的な要因によって材料が異なるといった点、それに加えて、その後のおもちゃの発展により病児や高齢の方の発達やケアでの利用などの事例を参加者が知ることができました。

また、レクチャー後には参加者同士での使い方の知らないおもちゃ作品を体験し合いました。多種多様なおもちゃを参加者が実際に触ることによって、講演の内容をより深く理解できました。その際には初めて知る使い方のわからないおもちゃを、見た目や材料などからどのようなものなのか参加者同士で考え、意見を出し合う場面が多く見受けられました。その後グループワークを実施し、「自分なりの新しいおもちゃ作品を考えてみる」というお題での議論でも多様な意見が積極的に共有されました。

美術館内の鑑賞は数人ずつの班に分かれて行われました。館内を大きく使ったものや、自然とコミュニケーションの生まれるものから 1 人で黙々と集中して遊べるものまで数多くの作品が展示されており、貴重な体験ができました。





このプログラムを通して、おもちゃの様々な価値を確認し、今後の興味関心と理解に役立てていただければ幸いです。

【報告・KYOPRO スタッフ】社会学部社会学科 3 年 大堀美紀

### プログラムの様子

